ネットワークカメラ
CG-NCMN/CG-WLNC11MN
詳細設定ガイド

添付の『はじめにお読みください』を必ずお読みになり、正しく設置・操作を行ってください。

PN J613-M7461-03 Rev.B

添付マニュアルのご紹介

本製品には、次のマニュアルが添付されています。各マニュアルをよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

●はじめにお読みください（紙マニュアル）

安全にお使いいただくためのご注意や、添付品の内容、各部の名称と機能、サポートに関する情報などを説明しています。
本製品をお使いになる前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

●お使いの手引き Administrator 編（紙マニュアル）

本製品の接続方法、基本設定などを説明しています。
本製品の導入時にお読みください。

●詳細設定ガイド（PDF マニュアル・本書）

「NCView A」の詳細な機能説明や、Web ブラウザーでの設定方法、トラブルシューティングなどを説明しています。

●お使いの手引き Standard 編（PDF マニュアル）

所有者以外の一般ユーザーが使用するソフトウェア「NCView S」のインストール方法、使い方を説明しています。必要に応じて弊社のホームページからダウンロードし、各ユーザーに配布してください。

ネットワークカメラの操作のしかた

ネットワークカメラを操作するには次の２つの方法があります。

● 「NCView A」で操作する

「NCView A」は、カメラの画像を見たり、録画するためのソフトウェアです。
最初にカメラを登録する必要がありますが、次からは、接続したいカメラを選択して［接続］ボタンをクリックするだけで、カメラにアクセスできます。LAN 内のカメラであれば、IP アドレスが分からなくても自動検索して接続できます。
「NCView A」からカメラに内蔵されている設定画面にアクセスして、設定を行うこともできます。

「NCView A」のおもな機能は次のとおりです。
・ 画像を見る（最大４台までのカメラの画像を閲覧可能）
・ 画像を静止画で保存する
・ 画像を動画で録画する
・ 被写体の動きを感知したときに、アラームを鳴らしたり、メールを送信する
・ ファームウェアを更新する

「NCView A」の使い方については、本書の「PART1 NCView A でカメラを操作する」をご覧ください。

● Web ブラウザーで操作する

「NCView A」がインストールされていないパソコンからカメラにアクセスする場合は、web ブラウザー（Internet Explorer）を使用します。
Web ブラウザーで IP アドレスやドメイン名を入力してカメラにアクセスし、画像を見たり、設定を行うことができます。

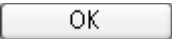
ただし、次のことは Web ブラウザーからは操作、設定できません。
・複数のカメラの画像を見る
・画像を静止画で保存する
・画像を動画で録画する
・被写体の動きを感知したときに、アラームを鳴らしたり、メールを送信する
・ファームウェアを更新する

Web ブラウザーで画像を見る方法や設定方法については、本書の「PART2 Web ブラウザーでカメラの画像を見る」「PART3 Web ブラウザーでカメラの設定をする」をご覧ください。

はじめに

このたびは、「CG-NCMN」「CG-WLNC11MN」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用していただくための手引きです。必要なときにいつでも参照していただけるように、大切に保管してください。

コレガ製品に関する最新情報（ファームウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせします。

http://www.corega.co.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

注意	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。
参照	添付マニュアルでの参照箇所を示しています。

●表記について

本製品	CG-NCMN または CG-WLNC11MN のいずれかを指します。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[ ]	[ ] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
LAN ケーブル	本書では、UTP ケーブル（アンシールド･ツイストペア･ケーブル）のことを指します。本製品の接続には付属のUTPケーブルを使用してください。

●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目次

「NCView A」について

「NCView A」は、本製品の所有者専用のユーティリティーです。本製品の画像を見られるだけでなく、録画時の設定など、本製品の設定もできます。
「NCView A」を起動すると、次のようなメインウィンドウが表示されます。

接続中のカメラがある場合は、そのカメラの画像ウィンドウも同時に表示されます。

複数のカメラの画像を見るときに使用します（P.15、16）。

カメラの各種設定を行います（P.23）。

ヘルプ/バージョン情報が表示されます。

録画ファイルを再生します（P.22）。

カメラの登録/変更/削除を行います（P.8、10、11）。

カメラアイコン
カメラの登録、切り替えを行います。

選択したカメラに接続 / 切断します（P.12）。

カメラの画像を録画するときに使用します（P.18）。

「NCView A」のメインウィンドウを最小化し、タスクバーに表示します。

「NCView A」のメインウィンドウを閉じます。

選択したカメラの情報（IPアドレス、デバイス名）や状態（On-Line/Off-Line）が表示されます。

クリックするとメインウィンドウの右端に「モーション設定」（P.27）、「詳細設定」（P.29）、「ファーム更新」（P.30）の3つのボタンが表示されます。

選択したカメラのMACアドレス、ファームウェアバージョンなどの詳細情報が表示されます。

カメラを登録する

「NCView A」でカメラの画像を見るには、カメラの登録が必要です。「NCView A」には、最大４台のカメラを登録できます。

「NCView A」でカメラの登録を行う前に、「NCSetup」でカメラの設定を行っておいてください。設定方法について詳しくは、『お使いの手引き Administrator 編』をご覧ください。

カメラの登録は次の手順で行います。

1 **カメラアイコンをクリックします。**

カメラアイコンをクリックします。
左から１～４の順になっています。

ネットワークに接続されているカメラが検索され、しばらくすると、一覧に表示されます。

2 **登録したいカメラを選択し、[登録] をクリックします。**

❶登録したいカメラをクリックします。

❷[登録] をクリックします。

登録したいカメラがどれにあたるかは、デバイス名やMACアドレスをもとに探してください。

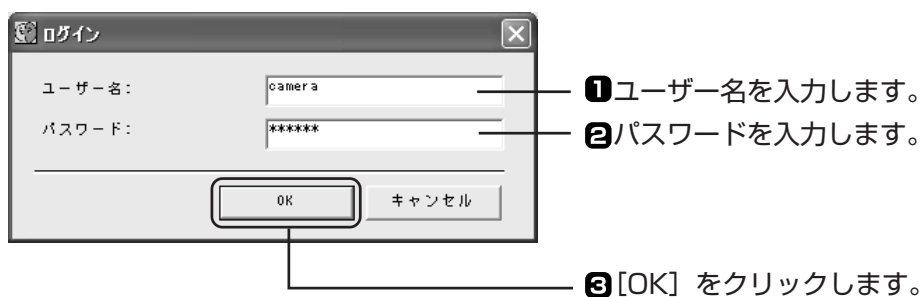
本製品のデバイス名は、工場出荷時には、次のように設定されています。

NC ○○○○○○

○の部分には、MAC アドレスの下６桁が入ります。

本製品の MAC アドレスは、背面の MAC アドレスラベルに記載されています。

・登録したいカメラが表示されないときは、［再検索］をクリックして、検索しなおしてください。それでも表示されないときは、［IP アドレス入力］をクリックしてカメラのIPアドレスまたはドメイン名（ダイナミックDNSをご利用の場合のみ）を直接入力し、手順３に進んでください。
・インターネット上のカメラの場合は、自動で検索されません。［IP アドレス入力］をクリックして、カメラのIPアドレスまたはドメイン名（ダイナミックDNSをご利用の場合のみ）を入力してください。
・カメラが自動検索されてもカメラのIPアドレスと使用中のパソコンのIPアドレスが同一ネットワーク上にない場合はカメラの登録ができません。パソコンとカメラのIPアドレスを再確認し、変更してください。

3 「ログイン」画面が表示されたら、「NCSetup」で設定したユーザー名とパスワードを入力して、[OK]をクリックします。

しばらくすると、登録したカメラの画像ウィンドウが表示されます。
また、メインウィンドウに登録したカメラのデバイス名や IP アドレス、接続状態が表示されます。

これで、カメラの登録は完了です。

カメラを複数台使用する場合は、同じ手順ですべての登録を行ってください。

■カメラの IP アドレスを変更する

「NCView A」でカメラのIPアドレスを変更できます。本製品とパソコンのIPアドレスが同一ネットワーク上にない場合などは、IP アドレスを変更する必要があります。

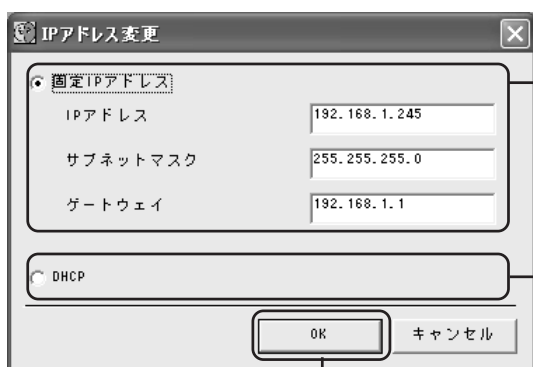
IP アドレスを変更できるのは、自動検索されたカメラのみです。

1 IP アドレスを変更したいカメラアイコンをクリックします。

2 [カメラ登録変更] をクリックします。

3 「接続中カメラ」画面が表示されたら変更したいカメラを選択して、[IPアドレス変更] をクリックします。

4 「ログイン」画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

5 「IP アドレス変更」画面で必要事項を入力し、[OK] をクリックします。

6 「接続中カメラ」画面で、[登録] をクリックします。

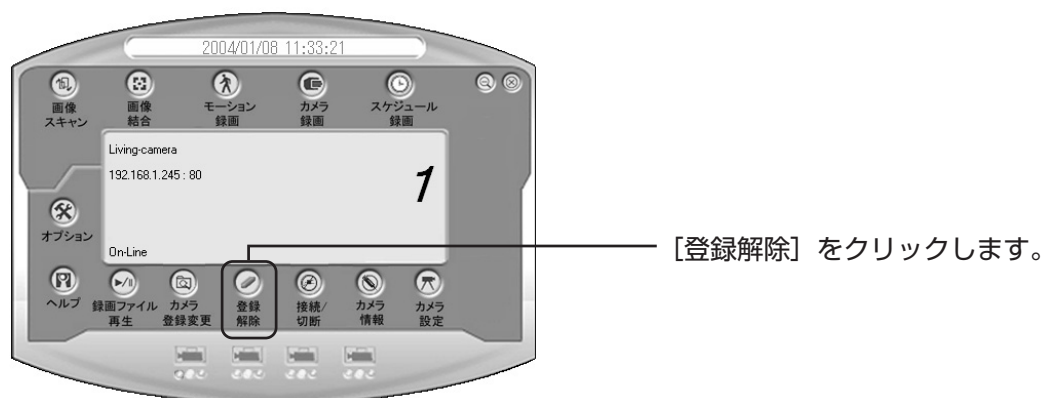
7 「ログイン」画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

しばらくすると、カメラの画像ウィンドウが表示されます。
また、メインウィンドウの IP アドレスの表示が変わります。

■カメラの登録を解除する

使用しないカメラの登録を解除することができます。

1 登録を解除したいカメラアイコンをクリックします。

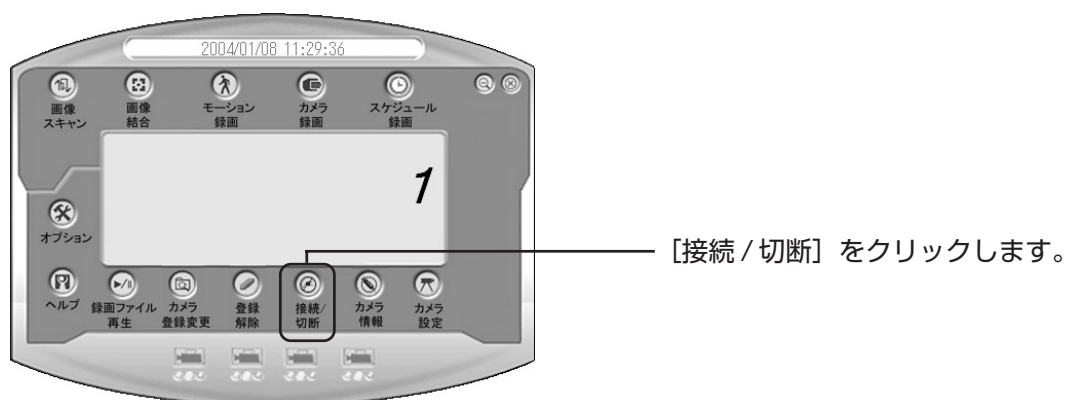
2 [登録解除] をクリックします。

メインウィンドウに表示されていたカメラ情報が消えます。
また、カメラの画像ウィンドウが表示されていた場合は、画像ウィンドウも消えます。

カメラの画像を見る

カメラに接続して、画像を見る方法を説明します。

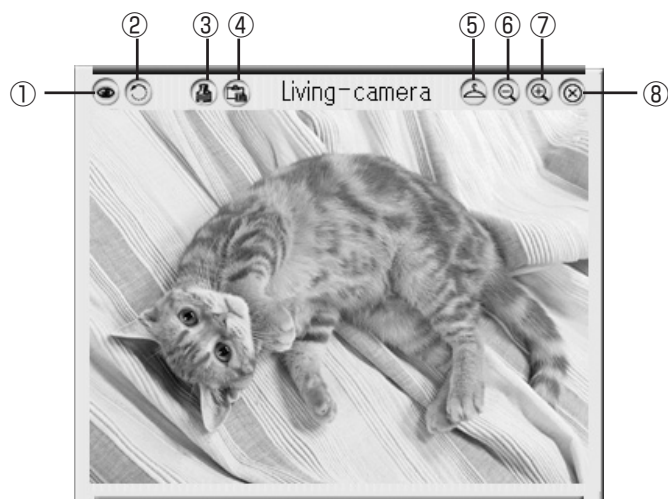
■カメラに接続 / 切断する

1 接続または切断したいカメラアイコンをクリックします。

2 [接続 / 切断] をクリックします。

カメラに接続されると、[接続 / 切断] がピンク色に変わり、メインウィンドウに「On-Line」と表示されます。同時に、画像ウィンドウに画像が表示されます。

切断されると、[接続 / 切断] が水色になり、メインウィンドウの表示が「Off-Line」に変わります。

■画像ウィンドウの操作について

画像ウィンドウの各ボタンをクリックすると、次のようなことができます。
クリックしたボタンは、ピンク色に変わります。

①表示されている画像を静止画（JPEG 形式）で保存できます（P.17）。

②表示されている画像を回転します。クリックするたびに左回りに 90 度ずつ回転していきます。

③表示されている画像の画質を調整できます（P.14）。

④メインウィンドウを表示します。

⑤画像ウィンドウを常に一番手前に表示します。もう一度クリックすると、解除されます。

⑥画像ウィンドウを最小化してタスクバーに表示します。

⑦画像ウィンドウを最大化して画面いっぱいに表示します。もう一度クリックすると、最大化する前に表示していた大きさに戻ります。

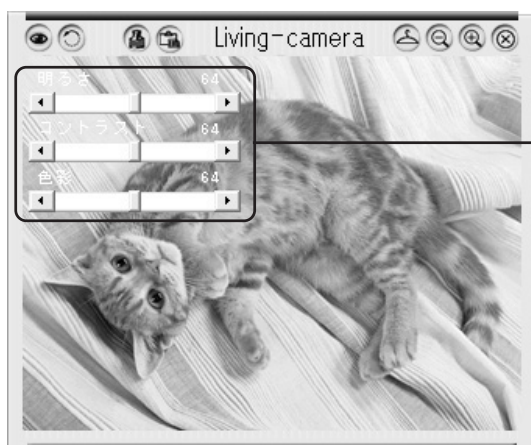
⑧画像ウィンドウを閉じます。再度、画像ウィンドウを表示するには、メインウィンドウで画像を表示したいカメラのアイコンをクリックしてください。

■画質を調整する

表示される画像の画質（明るさ、コントラスト、色彩）を調整できます。

1 **画像ウィンドウで、をクリックします。**

画像ウィンドウに画質調整バーが表示されます。

2 **明るさ、コントラスト、色彩の各スライダーを移動して調整します。**

下の表を参考に画質を調整します。

項　目	説　明
明るさ	画像の明るさを調整します。数値を大きくすると明るさが増します。工場出荷時は「64」に設定されています。設定範囲は、1（最小）～128（最大）です。
コントラスト	画像のコントラストを調整します。数値を大きくすると最も明るい部分と最も暗い部分との差が大きくなります。工場出荷時は「64」に設定されています。設定範囲は、1（最小）～128（最大）です。
色彩	画像の色具合を調整します。数値を大きくすると青色が強くなり、小さくすると赤色が強くなります。工場出荷時は「64」に設定されています。設定範囲は、1（最小）～128（最大）です。

3 **をクリックし、画質調整バーを閉じます。**

■複数のカメラの画像を切り替えて表示する<画像スキャン>

ネットワーク上に複数台のカメラを接続しているときに、1 つの画像ウィンドウで、一定の間隔でカメラを切り替えて画像を表示することができます。
カメラを切り替える間隔は、「オプション」画面の「画像スキャン間隔」で、設定できます（P.26）。

あらかじめ、各カメラを「NCView A」に登録、接続しておいてください。

1 メインウィンドウで [画像スキャン] をクリックします。

［画像スキャン］をクリックします。

設定した間隔でカメラが自動的に切り替わり、画像が表示されます。
表示中のカメラの名前は、画像ウィンドウのタイトルバーで確認できます。

画像結合（P.16）をしているときに［画像スキャン］をクリックすると、結合が解除されます。

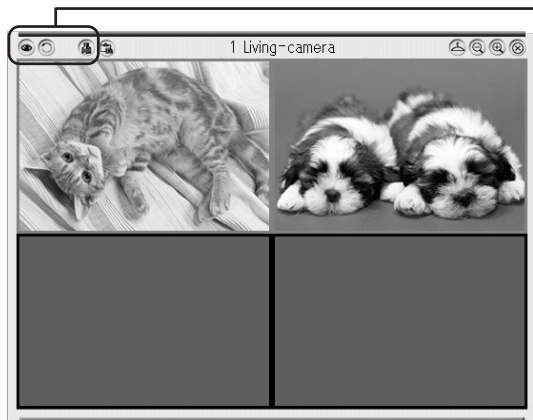
■複数のカメラの画像を 1 つのウィンドウで表示する<画像結合>

複数台のカメラに接続している場合に、各カメラの画像ウィンドウを結合して、1 つのウィンドウで表示することができます。

あらかじめ、各カメラを「NCView A」に登録、接続しておいてください。

1 メインウィンドウで［画像結合］をクリックします。

［画像結合］をクリックします。

4 台分の画像ウィンドウが、1 つのウィンドウに表示されます。

選択したカメラに対して、各ボタンの機能が実行されます。

画像をクリックすると、カメラを選択できます。
選択されているカメラの画像には、赤い枠が表示されます。

- 各ボタンの機能は 1 台のみの画像ウィンドウと同じです（P.13）。
- 画像ウィンドウでカメラを選択すると、メインウィンドウの表示が選択したカメラの情報に変わります。
- 接続または登録されていないカメラは、画像が表示されません。
- 画像スキャン（P.15）を行っているときに［画像結合］をクリックすると、画像スキャンが解除されます。

画像結合された状態から、カメラごとの画像ウィンドウに戻したいときは、画像ウィンドウの ⊗ をクリックするか、メインウィンドウで、もう一度［画像結合］をクリックします。

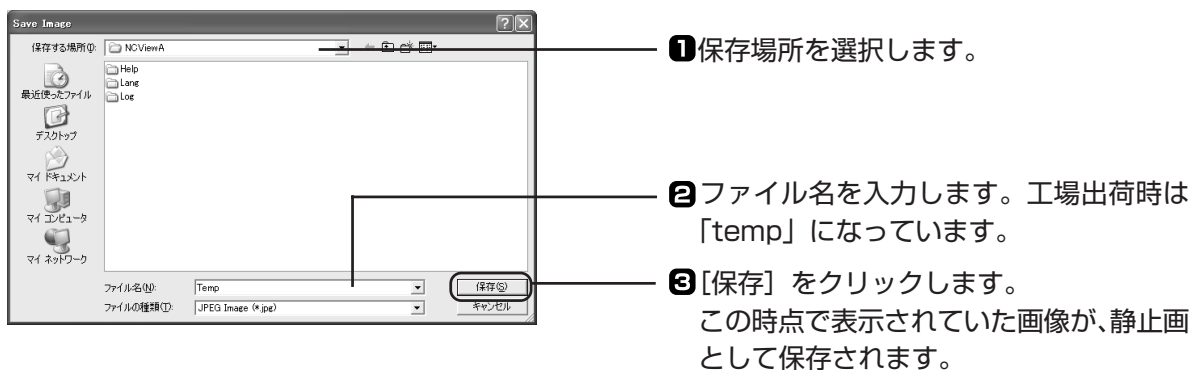
■画像を静止画で保存する

表示されている画像を静止画（JPEG 形式）で保存できます。

1 画像ウィンドウで をクリックします。

❶ をクリックします。

をクリックした時点の画像が保存されるわけではありません。
手順 2 で［保存］をクリックした時点で表示されていた画像が保存されます。

2 画像の保存場所とファイル名を設定し、[保存]をクリックします。

画像を録画する

本製品で撮影した画像を録画できます。録画方法には、「モーション録画」「カメラ録画」「スケジュール録画」の３種類があります。
録画ファイルは avi 形式で保存され、Windows Media Player などで再生できます。

・モーション録画
カメラが被写体の動きを感知しているときだけ、録画を行います。

・カメラ録画
手動で録画を行います。メインウィンドウの［カメラ録画］をクリックすると録画が始まり、もう一度クリックすると、録画が終了します。

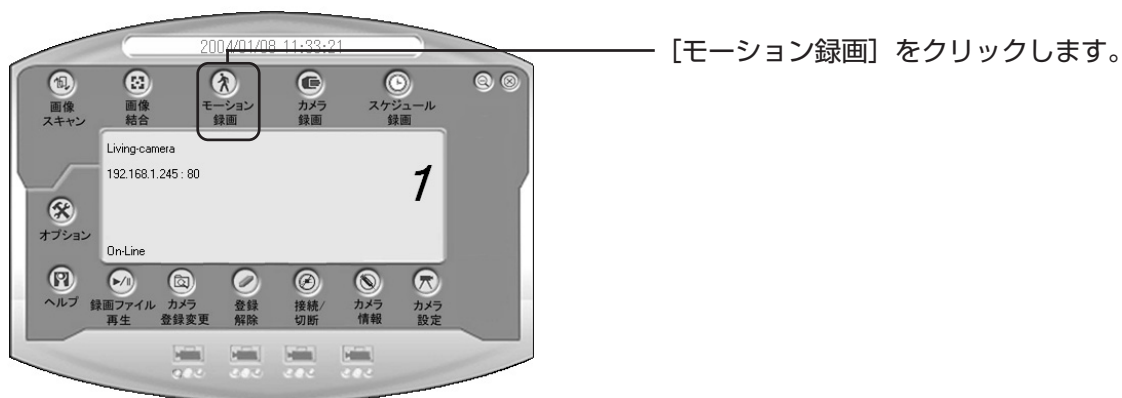
・スケジュール録画
指定した日時または曜日のみ、録画を行います。

●録画を行うときの注意

・録画ファイルの保存容量が［オプション］－［リサイクル］で設定した容量より大きくなると、古いファイルから自動的に削除されます（P.25）。
・「NCView A」のメインウィンドウまたは、録画したいカメラの画像ウィンドウのどちらかが開いていれば録画できます。
・録画ファイルは、［オプション］－［ファイル保存］で設定したフォルダ内に、カメラごとに保存されます（P.24）。
・録画ファイルは、［オプション］－［録画ファイル分割］で指定した容量で分割されて保存されます。
・録画ファイルのファイル名には、録画開始時刻がつけられます。
例：20031210151500．avi　→　2003 年 12 月 10 日 15 時 15 分 00 秒に録画開始

■被写体の動きを感知したときだけ録画する<モーション録画>

1 録画したいカメラアイコンを選択します。

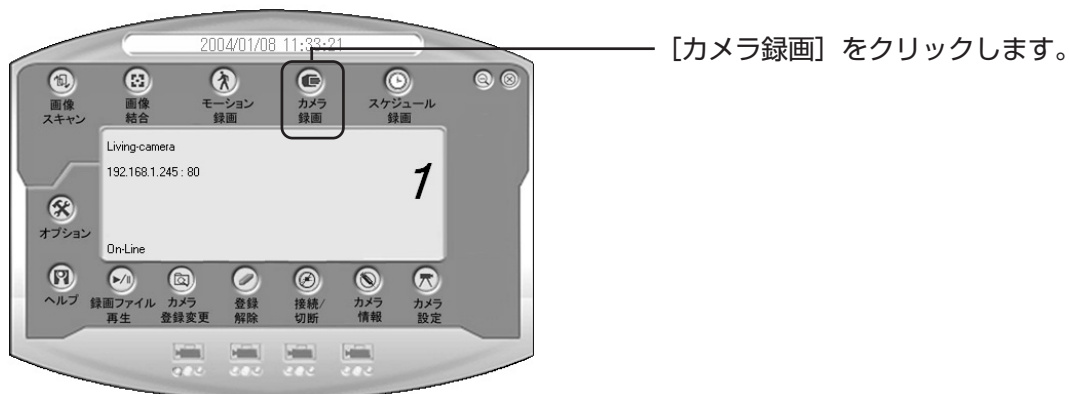
2 [モーション録画] をクリックします。

［モーション録画］をクリックします。

メインウィンドウに「モーション録画 ON」と表示されます。
カメラが被写体の動きを感知すると自動的に録画が始まり、動きがなくなると録画を終了します。
「モーション録画」を中止するときは、もう一度［モーション録画］をクリックします。

・動作感知のレベルは、［カメラ設定］－［モーション設定］で設定できます（P.27）。
ただし、被写体や撮影場所の状況により、設定した感度で機能しない場合があります。
・1 録画ごとに 1 ファイルが作成されます。

■手動で録画する<カメラ録画>

1 録画したいカメラアイコンを選択します。

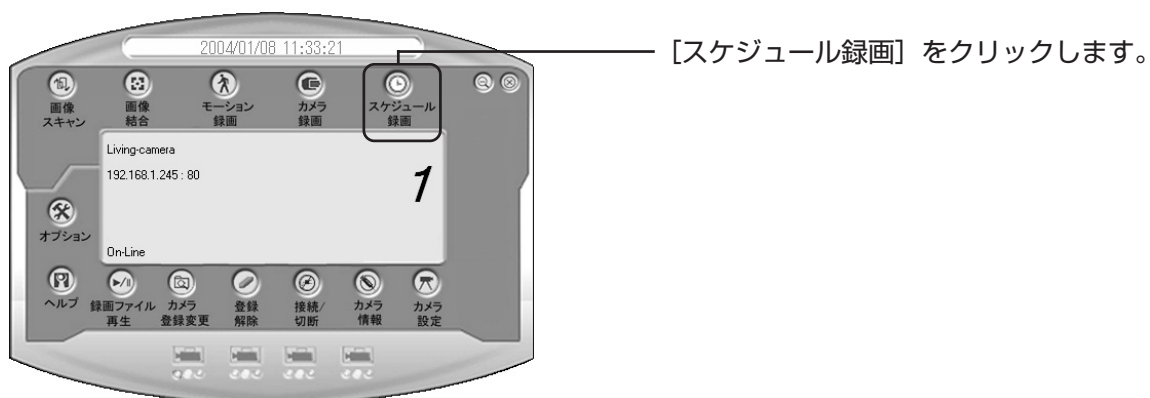
2 [カメラ録画] をクリックします。

［カメラ録画］をクリックします。

メインウィンドウに「カメラ録画中」と表示され、録画が始まります。
録画を終了するときは、もう一度［カメラ録画」をクリックします。

■日時や曜日を指定して録画する<スケジュール録画>

・録画スケジュールはカメラごとに設定できます。
・録画スケジュールは、1 台のカメラにつき、5 つまで設定できます。

1 録画したいカメラアイコンを選択します。

2 ［スケジュール録画］をクリックします。

3 ［スケジュール追加］をクリックします。

4 表示された画面で、「日付指定モード」か「曜日指定モード」のどちらかを選択し、次のように設定します。

曜日は、複数選択できます。毎日決まった時刻に録画を行う場合は、すべての曜日を選択します。

5 [OK] をクリックします。

6 「スケジュール録画」画面で、[OK] をクリックします。

メインウィンドウに「スケジュール録画 ON」と表示されます。
指定した日時になると録画が行われます。
「スケジュール録画」をやめるときは、もう一度［スケジュール録画］をクリックします。

●録画スケジュールを削除する

1 録画スケジュールを削除したいカメラのアイコンをクリックします。

2 [スケジュール録画] をクリックします。

3 削除したいスケジュールを選択して、[削除] をクリックします。

●録画スケジュールを変更する

録画スケジュールを変更するには、以前のスケジュールを削除して、新たにスケジュールを作成します。

■録画ファイルを再生する

録画ファイルは、Windows Media Player などで再生することができます。

MPEG4 を再生できるアプリケーションをあらかじめインストールしておいてください。

1 メインウィンドウで［録画ファイル再生］をクリックします。

［録画ファイル再生］をクリックします。

2 再生したい録画ファイルの保存場所とファイル名を選択し、[OK] をクリックします。

・工場出荷時の設定では、録画ファイルは、「C：¥corega¥Network Camera」の中の、カメラ別のフォルダに保存されています。
・録画ファイルの保存場所は、［オプション］－［ファイル保存］で変更できます（P.24）。
・録画ファイルのファイル名は、録画開始時刻になっています。
　例：20031210151500．avi → 2003年12月10日15時15分00秒に録画開始

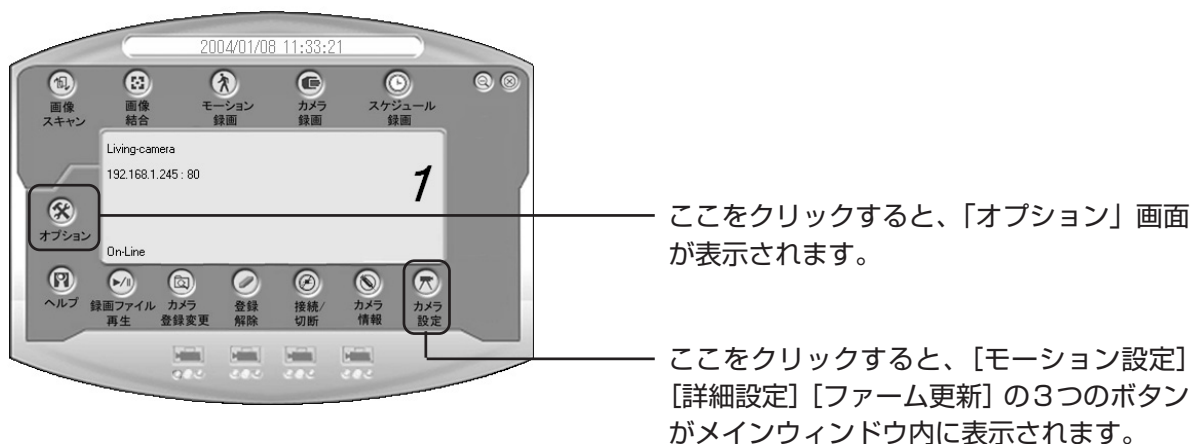
Windows Media Player が起動し、録画ファイルの再生が始まります。

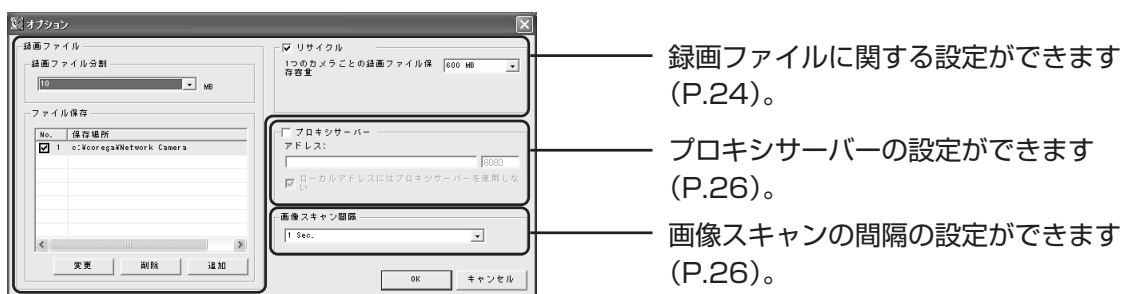
Windows Media Playerの操作方法→Windows Media Playerのヘルプをご覧ください。

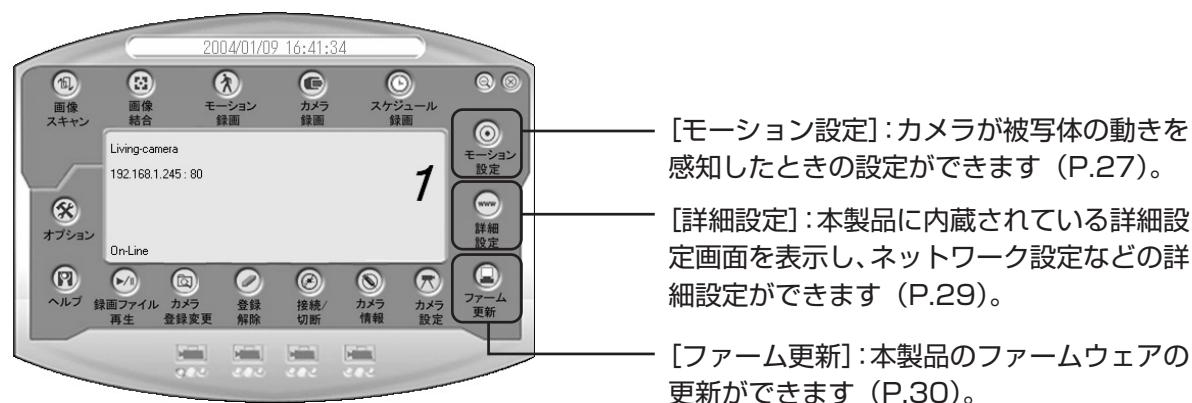
カメラの設定をする

「NCView A」では、録画ファイルの設定や動作感知のレベルの設定などができます。設定は、メインウィンドウの［オプション］または［カメラ設定］から行います。

ここをクリックすると、「オプション」画面が表示されます。

ここをクリックすると、［モーション設定］［詳細設定］［ファーム更新］の3つのボタンがメインウィンドウ内に表示されます。

●「オプション」画面で設定できること

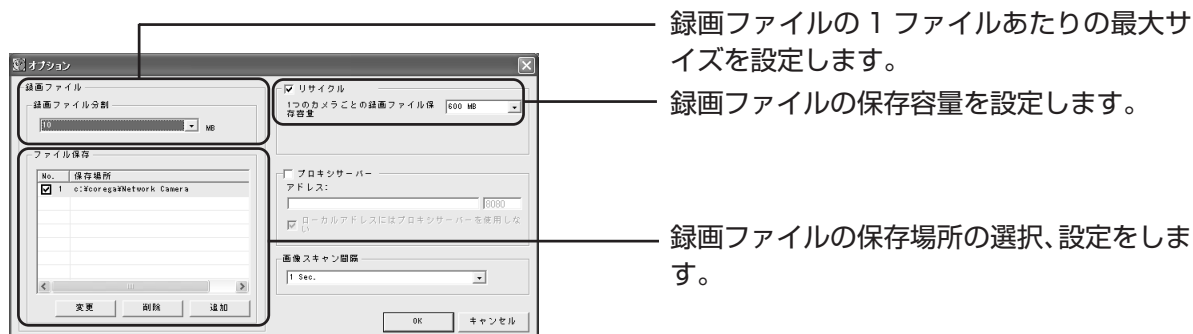
「オプション」画面では、次の設定ができます。

●［カメラ設定］で設定できること

［カメラ設定］をクリックすると、次の3つのボタンが表示されます。

■録画ファイルの設定をする<オプション>

録画ファイルの保存容量や保存場所などを設定します。
「オプション」画面で、次のような設定をします。

録画ファイルの 1 ファイルあたりの最大サイズを設定します。

録画ファイルの保存容量を設定します。

録画ファイルの保存場所の選択、設定をします。

● 1 ファイルあたりの最大サイズを設定する

録画ファイルの 1 ファイルあたりの最大サイズを設定します。
録画中に、録画ファイルがここで設定したサイズを超えると、自動的に別のファイルが作成されます。
10M バイトから 50M バイトのあいだで選択できます。工場出荷時の設定は、10M バイトです。

- ここで設定したサイズは、およその目安です。
- 画質の設定（解像度や圧縮率）によって、1 ファイルに録画できる時間は異なります。

● ファイルの保存場所を設定する

録画ファイルの保存場所を設定します。
録画をすると、ここで設定したフォルダの中に、カメラごとのフォルダが自動的に作成され、録画ファイルが保存されます。
保存場所は、最大 16 か所作成できます。
保存場所には、作成した順に番号がつけられます。必要に応じて、使用する保存場所を選択することができます。
パソコンのハードディスクを複数のドライブに分けている場合は、別のドライブのフォルダを登録し複数の保存場所を選択しておくことで、1 つのドライブがいっぱいになった際に自動的に次の保存場所に録画ファイルを保存できます。
複数の保存場所を選択した場合は、番号の小さい順に保存されます。

保存場所を変更／追加するときは、次のように設定します。

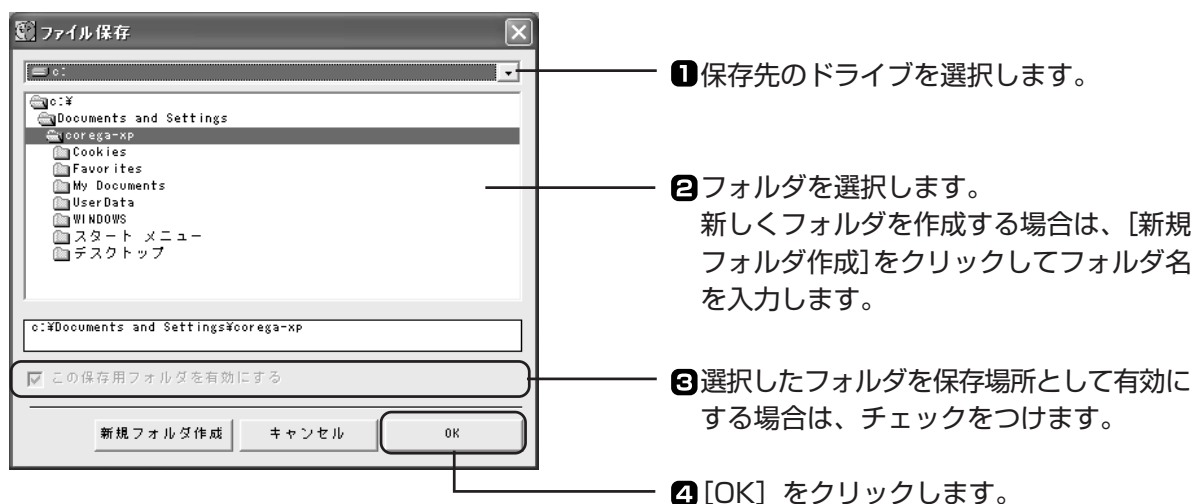
1 「オプション」画面で、[変更] または [追加] をクリックします。

[変更] または [追加] をクリックします。

2 「ファイル保存」画面で、次のように設定します。

❶保存先のドライブを選択します。

❷フォルダを選択します。
新しくフォルダを作成する場合は、[新規フォルダ作成]をクリックしてフォルダ名を入力します。

❸選択したフォルダを保存場所として有効にする場合は、チェックをつけます。

❹[OK] をクリックします。

3 「オプション」画面で、[OK] をクリックします。

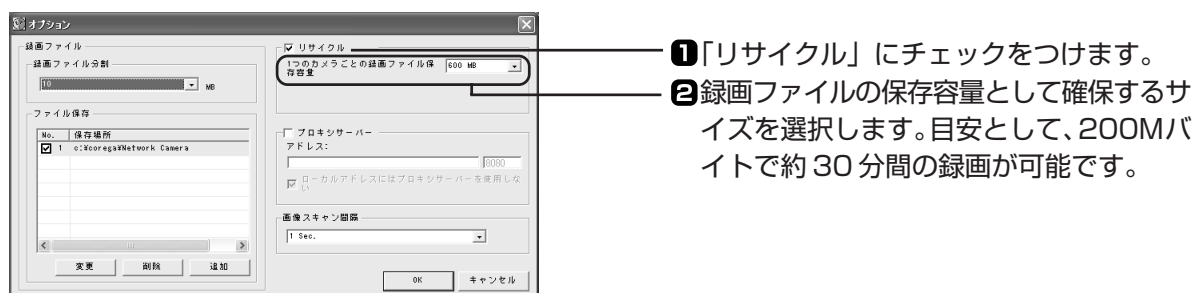
・録画ファイルの保存を確実に行うため、保存先のフォルダは、ルートから４階層以内にしてください。
・保存場所を削除するときは、「オプション」画面で、削除したい保存場所を選択して［削除］をクリックします。

●録画ファイルの保存容量を設定する

録画ファイルの容量が増えてシステムが不安定になるのを防ぐため、カメラごとに録画ファイルを保存する最大容量を設定することができます。録画ファイルの保存容量がここで設定した容量より大きくなると、古いファイルから自動的に削除されます。

「オプション」画面で、次のように設定します。

❶「リサイクル」にチェックをつけます。

❷録画ファイルの保存容量として確保するサイズを選択します。目安として、200Mバイトで約 30 分間の録画が可能です。

ご使用の環境に応じて、設定した保存容量での録画可能時間は変わります。

■プロキシサーバーの設定をする<オプション>

「NCView A」を使用しているパソコンのネットワークで、インターネット接続にプロキシサーバーを使用している場合は、「NCView A」でプロキシサーバーの設定が必要です。

「NCView A」を使用しているパソコンにプロキシサーバーを設定しないと、インターネット上のカメラにアクセスすることができません。

「オプション」画面で、次のように設定します。

下の表を参考にプロキシサーバーの設定をします。

項　目	設定例	説　明
プロキシサーバー	―	プロキシサーバーを使用する場合は、チェックをつけます。
アドレス	proxy．isp．ne．jp	プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力します。工場出荷時のポート番号は「8080」になっています。
ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない	―	チェックをつけると、同一ネットワーク内のカメラにアクセスするときにプロキシサーバーを経由しないでアクセスできます。プロキシサーバーを経由しない方が、すばやくカメラにアクセスできます。

■画像スキャンの間隔を設定する<オプション>

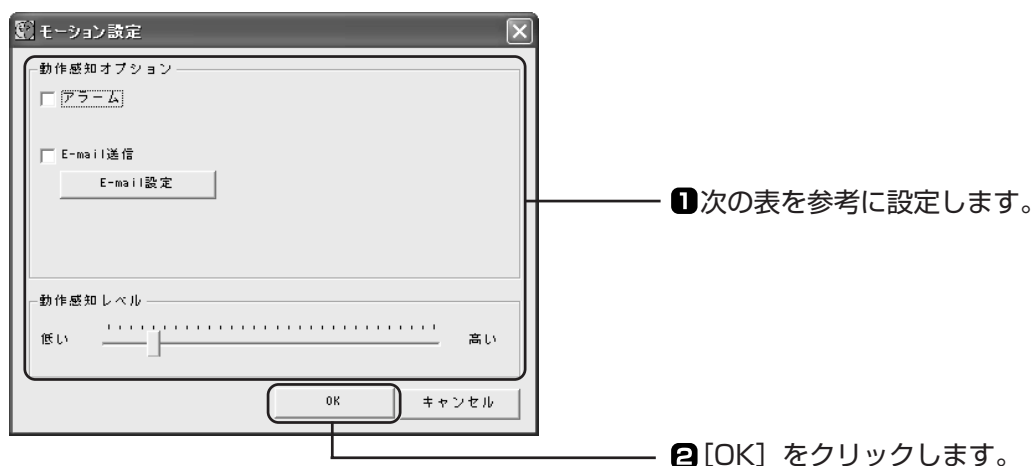
［画像スキャン］で、複数台のカメラの画像を切り替えて表示させるときに、カメラを切り替える間隔を設定します。「オプション」画面の「画像スキャン間隔」で、間隔を選択します。1 秒から 20 秒のあいだで、1 秒間隔で設定できます。工場出荷時の設定は、「1 sec.」（1 秒）です。

■カメラが被写体の動きを感知したときの設定をする<モーション設定>

カメラが被写体の動きを感知したときに、アラームを鳴らしたり、画像をメールで送信することができます。また、被写体の動きを感知する感度も設定できます。

1 **モーション設定を行いたいカメラのアイコンをクリックします。**

2 **メインウィンドウの［カメラ設定］－［モーション設定］をクリックします。**

3 **「モーション設定」画面で次のように設定します。**

項　目	説　明
アラーム	カメラが被写体の動きを感知したときに、アラーム（パソコンの警告音）を鳴らすことができます。
E-mail 送信	カメラが被写体の動きを感知したときに、画像（JPEG形式の静止画像）を指定したメールアドレスに送信することができます。設定については、次の「E-mail 設定について」をご覧ください。
動作感知レベル	カメラが被写体の動きを感知するレベルを設定します。つまみを左右に動かして調整してください。レベルを高くするほど、鈍い動作にも反応するようになります。

「動作感知レベル」は、被写体や撮影場所の状況（照度の急激な変化など）により、設定した感度で機能しなかったり、逆に設定した感度以下でも機能する場合があります。

● E-mail 設定について

1 「モーション設定」画面で［E-mail 設定］をクリックします。

2 「E-mail 設定」画面で、次のように設定します。

項　目	設定例	説　明
メールサーバーアドレス	smtp．isp．ne．jp	メールサーバー（SMTPサーバー）のアドレスを入力します。IPアドレスまたは、ドメイン名で入力してください。
送信元アドレス	fromname＠isp．ne．jp	画像を添付した電子メールの送信元の電子メールアドレス（送り主）を設定します。
送信先アドレス	toname＠isp．ne．jp	画像を添付した電子メールの受信先の電子メールアドレス（送り先）を設定します。
件名	リビングのカメラ	カメラから送信されるメールの件名を入力します。設置場所、カメラ名等分かりやすい件名を入力しておくと便利です。
ユーザー名	corega	メールサーバーへアクセスするためのユーザー名を入力します。
パスワード	passwordsmtp	メールサーバーへアクセスするためのパスワードを入力します
送信間隔	5（秒）	メールを送信する間隔を設定します。工場出荷時の設定は、5秒です。

・本製品のメール機能は、SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。

・メールサーバーによっては、電子メールへの添付ファイルの容量に制限がある場合があります。事前にプロバイダーまたはネットワーク管理者に相談してください。

・メールサーバーによっては、送信元の電子メールアドレスを入力しないと送信されない場合があります。

■カメラの詳細設定をする＜詳細設定＞

本製品に内蔵されている「Top/Information」画面を表示して、詳細設定をすることができます。

1 **詳細設定を行いたいカメラを選択します。**

2 **メインウィンドウの［カメラ設定］－［詳細設定］をクリックします。**

3 **ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力して「OK」をクリックします。**

本製品に内蔵されている「Top/Information」画面が表示されます。

「Top/Information」画面についての詳細は、本書の「PART3　Web ブラウザーでカメラの設定をする」をご覧ください。

■ファームウェアを更新する＜ファーム更新＞

本製品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアはコレガのホームページ（http://www.corega.co.jp/）から入手してください。

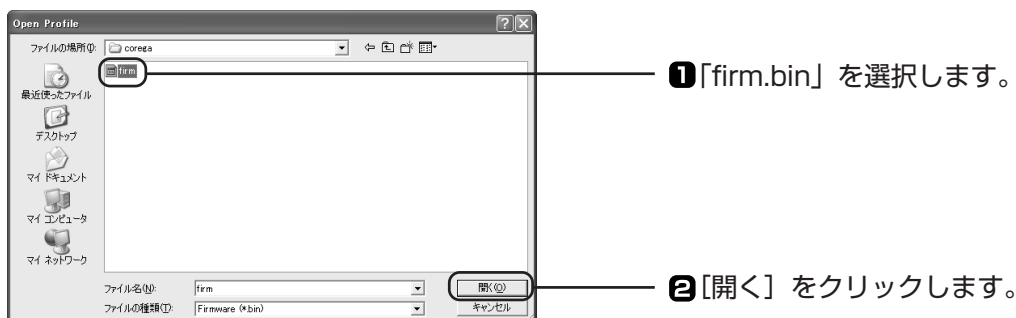
・ファームウェアをアップデートする前に、本製品の設定内容をメモしておいてください。
・更新用のファームウェアファイルは、コレガのホームページから入手して、あらかじめ設定用のパソコンに保存しておいてください。
・ファームウェアの更新中は電源を切断したり、カメラの操作を行ったりしないでください

ここでは例として、[c:¥corega]（C ドライブ内のフォルダ名「corega」）に「firm.bin」（ファームウェアのファイル名）を保存した場合で説明します。

1 ファームウェアを更新したいカメラを選択します。

2 メインウィンドウの [カメラ設定] － [ファーム更新] をクリックします。

3 [参照] をクリックします。

4 「corega」フォルダ内の「firm. bin」を選択して、[開く] をクリックします。

5 [更新] をクリックします。

ファームウェアの更新が始まります。
ファームウェア更新後は自動的に本製品が再起動されます。本製品へのアクセスは切断されます。

カメラに接続する

パソコンから本製品に接続して、画像を見ることができます。本製品の画像を見るには、本ソフトウェアの「NCView A」だけでなく、Webブラウザーからでも見ることができます。接続時には次のことがらに注意してください。

・カメラに接続して画像を見るパソコンは、『お使いの手引き Administrator編』で推奨されているパソコンをご利用ください。
・WebブラウザーにはInternet Explorer 5.5以降をご利用されることおすすめします。その他のWebブラウザーでは、正常な画像を見ることができない可能性があります。
・パソコンなどでウイルス駆除ソフト、ファイアーウォールソフトなどのセキュリティーソフトが稼働していると、本製品の画像表示ができなくなることがあります。セキュリティーソフトの設定変更または停止、稼働の方法は、セキュリティーソフトの取扱説明書を参照してください。

・Webブラウザーから画像（動画）を見るには、Java Plug-in 1.3.1_0（Java 2 Runtime Enviroment, Standard Edition(JRE)）以上が必要です。

パソコンから本製品の画像を見るには、パソコンと本製品を直結、LAN内から接続、無線LANで接続、xDSLモデムなどと直結、ルーターを経由してインターネット側から接続など、さまざまな方法で画像を見ることができます。ここではLAN内からの接続とインターネット経由での接続の場合について説明します。

● LAN内から接続する

1 「ネットワークの設定をする <システム設定>」(P.41) で、LAN内から接続するための設定を完了しておきます。

2 本製品に接続するパソコンから、Internet ExplorerなどのWebブラウザーを起動します。

3 Webブラウザーのアドレス入力欄に本製品のIPアドレスとポート番号を次のように入力し、キーボードの【Enter】を押します。
例：IPアドレスを「12.34.56.78」、ポート番号を「81」に設定した場合
→ http://12.34.56.78:81

本製品のIPアドレスとポート番号を入力します。

ポート番号を「80」（工場出荷時）に設定している場合は、ポート番号を入力する必要はありません。

4 P.55の「カメラに接続できるユーザーを制限する」でユーザーの登録を行っている場合は、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されますので、所有者またはユーザー用のログイン名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

次の画面はWindows XPのものですが、他のOSでも手順は同じです。

- 工場出荷時の状態では、ログイン名とパスワードは設定されていませんので、この画面は表示されません。「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。
- 所有者のログイン名、パスワードは忘れないようにしてください。

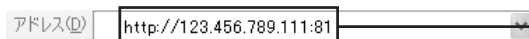
5 「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。

●インターネット経由で接続する

1 「ネットワークの設定をする<システム設定>」(P.41)で、ルーター経由でインターネットから接続するための設定を完了しておきます。

2 本製品に接続するパソコンから、Internet ExplorerなどのWebブラウザーを起動します。

3 Webブラウザーのアドレス入力欄に、本製品のIPアドレスまたはURLとポート番号を次のように入力し、キーボードの【Enter】を押します。

・ルーターのWAN側に固定のグローバルIPアドレスを利用する場合
　例：グローバルIPアドレスを「123.456.789.111」、ポート番号を「81」に設定した場合
　　→http://123.456.789.111:81

・DDNSサービスから取得したURLを利用する場合
　例：URLを「networkcamera.server.cc」、ポート番号を「81」に設定した場合
　　→http://networkcamera.server.cc:81

ポート番号を「80」(工場出荷時)に設定している場合は、ポート番号を入力する必要はありません。

4 P.55の「カメラに接続できるユーザーを制限する」でユーザーの登録を行っている場合は、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されますので、所有者またはユーザー用のログイン名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

次の画面は Windows XP のものですが、他の OS でも手順は同じです。

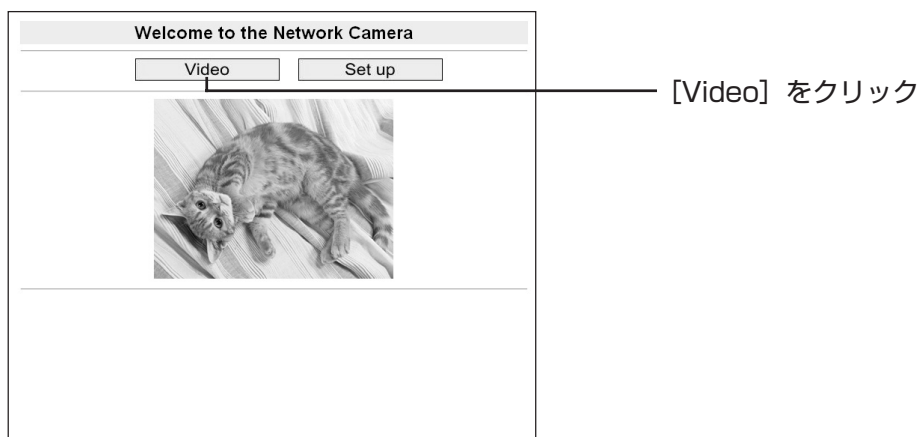
・工場出荷時の状態では、ログイン名とパスワードは設定されていませんので、この画面は表示されません。「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。
・所有者のログイン名、パスワードは忘れないようにしてください。

5 「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。

画像を見る

パソコンから本製品に接続して画像を見ることができます。本製品の画像を見るには、添付の「NCView A」だけでなく、Web ブラウザーを使って見ることもできます。また、本製品の画像を直接見ることができない場合には、電子メールに画像を添付して送信したり、FTP サーバーに画像を登録して見ることもできます。FTP でのファイルの登録先を、公開用のホームページを置いてある場所にして画像を表示する設定にしておけば、本製品の画像を公開用のホームページから見ることもできます。なお、接続時の注意として、「カメラに接続する」(P.31)をご覧ください。

●本製品の画像を見る

1 Web ブラウザーを利用して本製品に接続すると、「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。[Video] をクリックします。

本製品の画像が表示されます。

FTP に画像を登録、または電子メールに画像を添付して送る場合は、[ON] をクリックします。(右側の[OFF]の表示が[ON]に変わります)

項　目	説　明
FTP アップロード ON OFF	「アップロード」画面で「FTPサーバーに自動でアップロードする」または「FTPサーバーに手動でアップロードする」を選択した場合に有効になります(P.60)。[ON] をクリックすると、画像（静止画）を指定したFTPサーバーにアップロードします。実行中は右側の表示が「OFF」から「ON」に変わり、「ON」になっている間アップロードを続けます。
E-mail 送信 ON OFF	「E-mail 設定」画面で「画像を手動で送信する」を選択した場合に有効になります。[ON] をクリックすると、画像（静止画）を撮影して電子メールに添付し、指定した送信先に送信します。実行中は右側の表示が「OFF」から「ON」に変わり、「E-mail 設定」で設定した間隔で E-mail を送信し続けます。

・撮影頻度が高くなると、登録先の FTP サーバーや電子メールサーバーが一杯になってしまい、電子メールの送信や FTP サーバーへのアップロードができなくなってしまいますので、ご注意ください。

・1台のカメラに一度に多数の人数がアクセスすると画像がうまく表示できなくなる場合があります。

撮影頻度について→「画像をFTPにアップロードする（FTPサーバーの設定）<アップロード>」（P.59)、「画像をメールで送信できるようにする（SMTPサーバーの設定）<E-mail 設定>」（P.57）

設定画面を開く

本製品の設定は Web ブラウザーでも行えます。

●本製品の設定を行うときの注意

・Web ブラウザーには Internet Explorer 5.5 以降をご利用ください。これ以外の Web ブラウザーでは、正常に設定が行えません。
・本製品の設定を行う際には、パソコンと本製品を直結、LAN 内から有線接続など、できる限り単純なネットワーク構成で設定を行うことをおすすめします。
・パソコンと本製品を直接接続して設定を行う場合は、クロスケーブルが必要です。また、パソコンの IP アドレスは固定にしておいてください。
・設定用のパソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアーウォールソフトなどのセキュリティーソフトが稼働していると、本製品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティーソフトを停止させて本製品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティーソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティーソフトの取扱説明書を参照してください。

1 **本製品に接続されたパソコンで、Internet Explorer を起動します。**

2 **Webブラウザーのアドレス入力欄に「http://192.168.1.245(:ポート番号)」と入力し、キーボードの【Enter】を押します。**

IP アドレスを入力します。

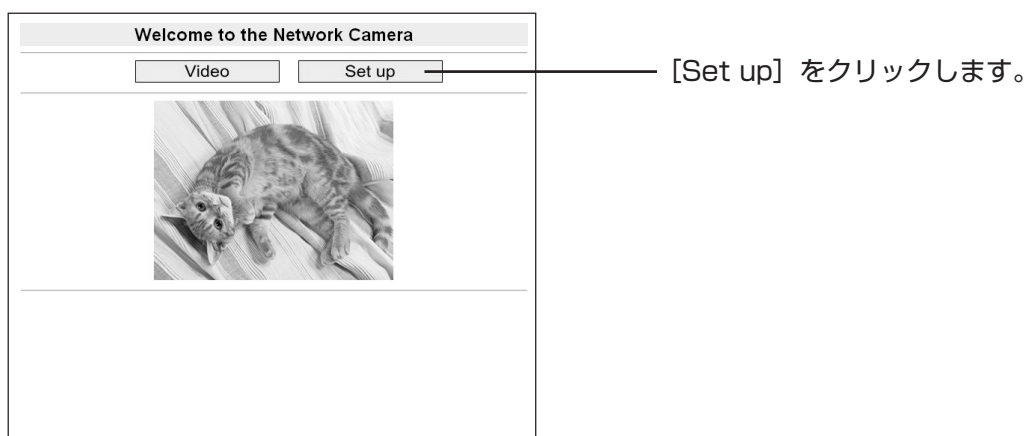
ポート番号を「80」(工場出荷時)に設定している場合は、ポート番号を入力する必要はありません。なお、IP アドレスを変更している場合は、変更した IP アドレスを入力してください。

3 **ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、所有者またはユーザー用のログイン名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

次の画面は Windows XP のものですが、他の OS でも手順は同じです。

工場出荷時の状態では、ログイン名とパスワードは設定されていませんので、この画面は表示されません。また、P.31 の「カメラに接続する」で設定したログイン名とパスワードでログインした場合もこの画面は表示されません。

「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。

4 [Set up] をクリックします。

「Top/Information」画面が表示されます。

ユーザー用のログイン名、パスワードでは本製品の設定を変更できません。所有者のユーザー名、パスワードを入力する画面が表示されますので、画面にしたがって入力してください。

5 設定したい項目をクリックします。

各項目の設定画面が表示されます。

設定が完了したら、設定内容を保存した後、再起動が必要になる項目もあります。

再起動について→「カメラを再起動する＜ツール＞」(P.62)

設定項目について

本製品の設定画面の全体構成について説明します。

項目	説明
Welcome to the Network Camera	初期画面です。
├ Video	撮影されている画像が表示されます（P.34）。
└ Set up	本製品の設定を行います。
├ Top/Information	設定の概要やユーザー登録、Q&A、製品情報について紹介しています。
├ システム設定※	ネットワークへの接続設定、無線設定、DDNSなどの設定を行います（P.39～52）。
├ ビデオ設定※	表示される画像の解像度や明るさ、色彩などの設定を行います（P.53）。
├ ユーザー管理	ユーザーの追加/削除を行います（P.55）。
├ E-mail設定	電子メールへの転送を設定します（P.57）。
├ アップロード	FTPへのアップロードを設定します（P.59）。
├ ステータス	本製品のネットワーク情報を表示します（P.61）。
└ ツール	本製品を工場出荷時の状態に戻したり、再起動を行います（P.62～64）。

※NC Setupで設定される内容と同じです。

「システム設定」「E-mail設定」で保存をクリックした場合、本製品は自動的に再起動されます。再起動終了後に設定が反映されます。再起動中は本製品への接続が一時的に中断されるのでご注意ください。

カメラの名前を設定する < システム設定 >

本製品に名前や設置場所を設定します。設定しておくと、複数台利用時にどの場所でどのカメラを使用しているかを判別するのに便利です。

1 「設定画面を開く」(P.36)の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

デバイス名	Living-camera
説明	水槽の中の熱帯魚

❶カメラの名前を入力します。
❷カメラの設置場所などを入力します。

項　目	入力例	説　明
デバイス名	Living-camera	この項目には、カメラに任意の名前を入力します。特に製品名を入力する必要はありません。工場出荷時は、「NCxxxxxx」とxの部分にMACアドレスの下6桁が入力された状態になっています。名称の最大入力文字数は半角英数字で32文字までです。
説明	水槽の中の熱帯魚	この項目には、カメラを利用している場所・地域などを入力してください。工場出荷時は何も入力されていません。最大入力文字数は半角英数字で64文字までです。全角文字での入力も可能です。

3 入力が終了したら[保存]をクリックします。

4 本製品が自動的に再起動します。

セキュリティーの設定をする < システム設定 >

所有者以外のユーザーが、本製品の設定内容を変更できないようにするため、本製品の所有者のログイン名、パスワードの設定をします。ログイン名とパスワードを設定すると、設定画面を開く際にログイン名とパスワードの入力が必要になります。

・第三者からの不正アクセスやハッキングを防止するためにも、所有者のログイン名、パスワードはご購入後または工場出荷時の設定に戻した後は、できるだけ早めに設定し、その後は定期的に変更することをお勧めします。

・設定したログイン名、パスワードは忘れないようにしてください。ログイン名、パスワードを忘れると、本製品の設定を変更できなくなります。忘れた場合は、本製品の設定を工場出荷時の状態に戻してください。工場出荷時の状態に戻すとログイン名、パスワードは設定されない状態になります。ただし、今まで設定していた情報がすべて消えてしまい、購入したときの設定に戻りますので、重要な設定をしている場合は、その設定内容を事前に書き残すなど、後ですぐに設定し直せるように準備しておいてください。

1 「設定画面を開く」(P.36)の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

❶「ログイン名」に所有者のログイン名を入力します。

❷「新しいパスワード」に所有者のパスワードを入力します。

❸確認のため、「新しいパスワード」に入力したパスワードを「パスワードの確認」に再度入力します。

項　目	入力例	説　明
ログイン名	corega	所有者のログイン名を入力します。入力できる文字数は4～12文字、種類は半角英数字のみで[スペース]、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。なお、工場出荷時は、ログイン名は設定されていません。
新しいパスワード	password	パスワードを入力します。パスワードは画面上では「*」や「●」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。入力できる文字数は4～8文字、種類は半角英数字のみで[スペース]、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。なお、工場出荷時は、パスワードは設定されていません。
パスワードの確認	password	パスワードは確認のため、最初の「新しいパスワード」と「パスワードの確認」に、必ず同じパスワードを入力してください。パスワードは画面上では「*」や「●」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。

3 入力が終了したら[保存]をクリックします。

4 本製品が自動的に再起動します。

ネットワークの設定をする <システム設定>

本製品を接続するネットワークの環境によって設定が異なります。プロバイダーまたはネットワーク管理者から指定された情報（IPアドレス、サブネットマスク、ポート番号、デフォルトゲートウェイ、DNS（Domain Name System）サーバーなど）を設定前に用意してください。

●パソコンに本製品を直接接続する……A タイプ

→本製品はお買い上げ時の設定のままご使用ください。パソコンに直接接続する場合は設定する必要はありません。

パソコンと本製品を直接接続する場合は、別売のクロスケーブルが必要です。

● パソコンに無線で直接接続する（CG-WLNC11MN のみ）……A － 1 タイプ

→パソコンと本製品を無線で直接接続するための情報を設定してください。なお、無線でパソコンに直接接続する前に、パソコンと有線接続して、無線接続のための設定を完了しておいてください。

・本製品とパソコンを無線で接続する場合→「無線の設定をする（CG-WLNC11MNのみ）<システム設定>」（P.46）

●ハブを使って社内 LAN などに接続する ……B タイプ

→ネットワーク管理者から指定された情報を設定してください。

・本製品に固定 IP アドレスを設定する場合→「固定 IP アドレスを設定する場合」（P.43）
・DHCP サーバーを利用している場合→「IP アドレスを自動で割り当てられる場合」（P.44）

●モデムに直接接続してインターネットに接続する ……C タイプ

→プロバイダーから指定された情報を設定してください。なお、xDSL モデムなどに直接接続する前にパソコンと接続してインターネット接続のための設定を完了しておいてください。

・本製品用にプロバイダーから固定IPアドレスを取得した場合→「固定IPアドレスを設定する場合」（P.43）
・Yahoo! BBのようにDHCPで利用する場合→「IPアドレスを自動で割り当てられる場合」（P.44）
・フレッツ・ADSLやBフレッツのようにPPPoEで接続する場合→「PPPoEで設定する場合」（P.45）
・DDNS の機能を使う場合→「URL を指定して画像を見る（DDNS の設定）<システム設定>」（P.48）

●ルーターを使ってインターネットに接続する ……D タイプ

→プロバイダーやネットワーク管理者から指定された情報を元に、ご使用のルーターの取扱説明書をご覧になりながら設定してください。

・本製品用に固定のグローバル IP アドレスを取得している場合→「固定 IP アドレスを設定する場合」（P.43）、ルーターの設定
・Yahoo! BB やフレッツ・ADSL などをルーター経由で使う場合→「固定 IP アドレスを設定する場合」（P.43）、ルーターの設定

→ルーター側には次のような設定が必要です。

・バーチャルサーバー機能または DMZ 機能の設定

● アクセスポイントや無線ルーターを使ってインターネットに接続する（CG-WLNC11MN のみ）……D － 1 タイプ

→上記のCタイプ、Dタイプに加えて無線でアクセスポイントや無線ルーターに接続するための情報を設定してください。

・アクセスポイントや無線ルーターに無線で接続する場合→「無線の設定をする（CG-WLNC11MN のみ）<システム設定>」（P.46）

タイプ別に「システム設定」画面で設定が必要な項目は、次のとおりです。

設定項目／タイプ	IPアドレス、サブネットマスク	ゲートウェイ	DNS サーバー	DDNS サーバー	セカンドポート番号
A タイプ	×	×	×	×	×
B タイプ	△※7	△※7	△※7	×	△※4
C タイプ	△※1	△※2	△※2	△※3	×
D タイプ	△※5	○※5	○	△※6	△※4

○…設定する必要あり　△…設定が必要な場合あり　×…設定不要（初期設定のままで問題なし）

※1　グローバル IP アドレスが固定の場合は、「固定 IP アドレス」をチェックして、グローバル IP アドレスとサブネットマスクを入力してください。DHCP や PPPoE の場合は「IP アドレス自動取得」を選択して、その他必要な項目を設定してください。

※2　DHCP でゲートウェイと DNS サーバーのアドレスが自動取得の場合は、「DNS サーバーアドレス」の「自動取得」を選択してください。DNS サーバーのアドレスが固定の場合は、必要な項目を設定してください。

※3　本製品のグローバルIPアドレスが固定の場合、DDNS機能の設定は必要ありません。インターネット側から本製品にアクセスする際には、Webブラウザーのアドレス欄にグローバル IPアドレスを入力してください。DHCP や PPPoE の場合は DDNS サービスをご契約後、本製品の DDNS 機能の設定をしてください。

※4　本製品を複数台接続している場合は、1台につき固有のセカンドポート番号を設定する必要があります。また、インターネット側から複数の本製品に接続する場合、個別のポート番号に対し、ルーターのバーチャルサーバー機能もしくはDMZ機能の設定が必要です。ルーターのポート番号の設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

※5　ルーターの DHCP 機能を利用する場合は、他の DHCP クライアントと IP アドレスが重複しないように、ルーター側で本製品の IP アドレスを除いた範囲を設定してください。ルーターの DHCP 機能を利用しない場合は、本製品に IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定が必要です。ゲートウェイは、ルーターの LAN 側の IP アドレスを設定してください。なお、外部にカメラを公開する場合は、ルーターにバーチャルサーバー機能もしくはDMZ機能の設定をしてください。設定方法については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。また、本製品の DDNS 機能の設定も必要です。

※6　インターネット側から本製品に接続する場合、次の設定が必要です。

- **すべてに共通する設定**

  ルーターのバーチャルサーバー機能もしくは DMZ 機能の設定が必要です。

- **WAN 側 IP アドレスが固定のグローバル IP アドレスの場合**

  DDNS 機能の設定は必要ありません。インターネット側から本製品にアクセスする際には、Web ブラウザーのアドレス欄に WAN 側 IP アドレスを入力してください。

- **WAN 側 IP アドレスが DHCP もしくは PPPoE で取得されている場合**

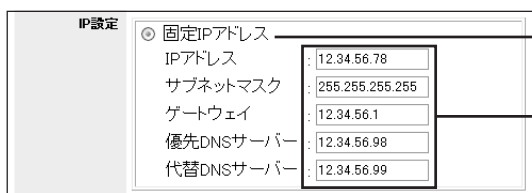
  DDNS サービスをご契約後、本製品の DDNS 機能の設定が必要です。

※7　LAN内で固定IPアドレスを利用している場合は、設定が必要です。DHCPサーバーを利用している場合は、設定内容を事前にネットワーク管理者にご相談ください。

- ルーターを利用してカメラを外部（インターネット）に公開するときは、ルーターのバーチャルサーバー機能もしくは DMZ 機能の設定が必要です。
- 本製品をダイナミック DNS を利用して、ルーター経由で外部に公開する場合、必ず本製品の DDNS機能を使用してください。ルーターにDDNS機能が搭載されている場合、本製品のDDNS機能と重複しますので、ルーター側は設定しないように注意してください。
- ルーターでインターネット（WAN 側）からのアクセス制御（IP フィルターなど）が設定されているときは、インターネットからアクセスできるように設定してください。設定についてはルーターの取扱説明書をご覧ください。

ルーターによっては、バーチャルサーバー機能のことを「ポートフォワーディング」、「アドレス変換」、「静的 IP マスカレード」、「仮想サーバー」もしくは「ポートマッピング」と呼んでいることもあります。

■固定IPアドレスを設定する場合

固定IPアドレスを利用したネットワーク環境に接続するときに必要な情報を設定します。設定内容については、プロバイダーやネットワーク管理者にご確認ください。

P.41のタイプのうち、次のタイプに該当する場合にこのページをご覧ください。
・Bタイプで、本製品に固定IPアドレスを設定する場合
・Cタイプで、本製品用にプロバイダーから固定IPアドレスを取得した場合
・Dタイプで、本製品用に固定のグローバルIPアドレスを取得した場合
・Dタイプで、Yahoo! BBやフレッツ・ADSLなどをルーター経由で使う場合

1 「設定画面を開く」(P.36)の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

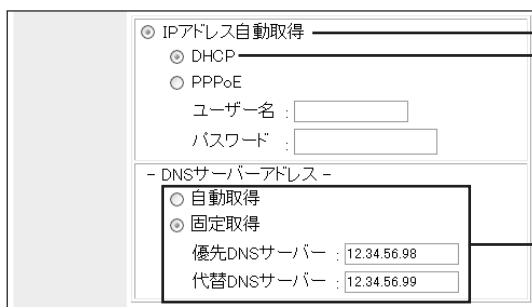
項　目	入力例	説　明
IPアドレス	12.34.56.78	本製品に設定したいIPアドレスを入力します。工場出荷時には「192.168.1.245」が設定されています。
サブネットマスク	255.255.255.255	指定されたサブネットマスクのアドレスを入力します。工場出荷時には「255.255.255.0」が設定されています。
ゲートウェイ	12.34.56.1	指定されたゲートウェイのアドレスを入力します。ルーターを使用してインターネット環境に接続する場合は、プロバイダーが指定するゲートウェイではなく、ご使用のルーターのIPアドレス(LAN側)を設定してください。
優先DNSサーバー	12.34.56.98	指定された優先DNSサーバーのアドレスを入力します。
代替DNSサーバー	12.34.56.99	指定された代替DNSサーバーのアドレスを入力します。

・ルーターを利用するときは、本製品に固定IPアドレスが割り当てられるよう、ルーターの設定も必要です。設定についてはルーターの取扱説明書をご覧ください。
・ネットワーク内でIPアドレスが重複しないようにしてください。

3 入力が終了したら[保存]をクリックします。

4 本製品が自動的に再起動します。

■IPアドレスを自動で割り当てられる場合

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー機能（DHCPサーバーがIPアドレスを自動的に割り振る機能）を利用したネットワーク環境に接続するときに必要な情報を設定します。設定内容については、プロバイダーやネットワーク管理者にご確認ください。

P.41のタイプのうち、次のタイプに該当する場合にこのページをご覧ください。
・Bタイプで、DHCPサーバーを利用している場合
・Cタイプで、Yahoo! BBのようにDHCPで接続する場合

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

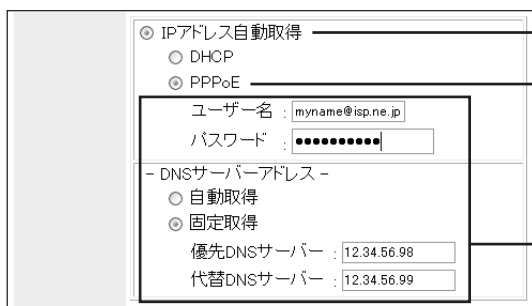
❶「IPアドレス自動取得」をクリックします。

❷「DHCP」をクリックします。

❸DNSサーバーのアドレスを自動取得する場合は、「自動取得」を選択します。DNSサーバーのアドレスを指定されている場合は、「固定IPアドレスを設定する場合」（P.43）を参考に、指定された情報を入力します。

3 入力が終了したら［保存］をクリックします。

4 本製品が自動的に再起動します。

■PPPoEで設定する場合

PPPoE（Point to Point Protocol over Ethernet）を利用したネットワーク環境に接続するときに必要な情報を設定します。設定内容については、プロバイダーやネットワーク管理者にご確認ください。

P.42のタイプのうち、次のタイプに該当する場合にこのページをご覧ください。
・Cタイプで、フレッツ・ADSLやBフレッツのようにPPPoEで接続する場合

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

項　目	入力例	説　明
ユーザー名	myname@isp.ne.jp	指定されたユーザー名（プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります）を入力します。入力できる文字数は64文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。
パスワード	password02	指定されたパスワード（プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります）を入力します。パスワードは画面上では「●」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。入力できる文字数は32文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。

3 入力が終了したら［保存］をクリックします。

4 本製品が自動的に再起動します。

無線の設定をする（CG-WLNC11MNのみ）<システム設定>

本製品は、IEEE802.11bの無線規格に対応しています。本製品を無線LANで運用するときは、無線の設定を行ってください。

通信相手の機器がIEEE802.11b規格に対応し、通信できる状態であることを確認しておいてください。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

次の表を参考に設定します。

項　目	説　明
通信モード	無線LANアクセスポイントを使用して本製品とパソコン間で無線LANのネットワークを構成しているときは「Infrastructure」（インフラストラクチャーモード）、本製品とパソコン間を直接通信する無線ＬＡＮのネットワークを構成しているときは「802.11AdHoc」（アドホックモード）を選択します。
ESSID	無線LANに接続する機器を識別する名前です。SSIDと呼ばれることもあります。同じ無線LANに接続する機器には、同じESSIDを設定してください。ESSID には、32 文字以内の、半角英数文字および半角記号を使用できます（大文字と小文字の区別はありません）。 使用できる半角記号は、次の通りです。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { ¦ } . 工場出荷時は「corega」になっています。
チャンネル	使用する電波の周波数（無線チャンネル）で、1 ～ 11 の間で設定できます。 アドホックモードで使用する場合は、使用する電波の周波数を設定します。無線LANに接続するすべての機器に、同じチャンネルを設定する必要があります。工場出荷時は「6」に設定されています。 インフラストラクチャーモードで使用する場合はチャンネルを自動的に認識するので設定する必要はありません。
暗号化	通信内容を暗号化するWEP機能を利用するかどうかを選択します。無線LANに接続するすべての機器で同じ WEP を設定する必要があります。 「OFF」を選択すると、通信内容は暗号化されません。 「64bits」を選択すると、64bit WEP が利用できます。 「128bits」を選択すると、128bit WEP が利用できます。 工場出荷時は、暗号化はされていません。

項　目	説　明
WEP キー	通信内容を暗号化するための WEP キー（暗号キー）を設定します。 Key1 ～ Key4 のそれぞれについて次のように WEP キーを入力してください。 暗号化：64bits／WEP キー：16 進数（0 ～ 9、a ～ f）で 10 桁の数字を入力　例：0123456789 暗号化：128bits／WEP キー：16 進数（0 ～ 9、a ～ f）で 26 桁の数字を入力　例：01234567890123456789abcdef 無線LANに接続するすべての機器で同じWEPキーを設定する必要があります。入力する文字数に過不足がないように注意してください。文字数が少ないと、WEP キーが正しく生成されず、正常に接続できなくなる可能性があります。
デフォルトキー	Key1 ～ Key4 のうち、使用するキーを選択します。
認証方式	暗号化で使用する認証方式を選択します。 認証方式には「Open System」と「Shared Key」の 2 種類があります。通信相手の機器と同じものを選択してください。 通常は、工場出荷時の「Both」（自動設定）を選択してください。

暗号化	WEP キー
64bits	16 進数（0 ～ 9、a ～ f）で 10 桁の数字を入力 例：0123456789
128bits	16 進数（0 ～ 9、a ～ f）で 26 桁の数字を入力 例：01234567890123456789abcdef

3 **入力が終了したら［保存］をクリックします。**

4 **本製品が自動的に再起動します。**

・パソコン（特に無線LAN機能内蔵のノートパソコン）によっては、特定のチャンネルに対応していないものがあります。お使いのパソコンの仕様を確認して、別のチャンネルに変更してください。

お使いの無線 LAN 機器によっては、64bit WEP は 40 ビット、128bit WEP は 104 ビットと表記される場合があります。

URL を指定して画像を見る（DDNS の設定）< システム設定 >

インターネット上から URL を指定して本製品に接続できるように、DDNS（ダイナミック DNS）の設定をします。接続環境によって次の設定が必要です。なお、ルーター経由でインターネットに接続している場合は、バーチャルサーバーに対応したルーターが必要です。

・インターネットに接続する（xDSL モデムなどに直接接続する）……C タイプ
　→本製品に DDNS の設定が必要です。
・インターネットに接続する（ルーターを使用する）……D タイプ、D-1 タイプ
　→ルーターにバーチャルサーバーの設定が必要です。本製品には DDNS の設定が必要です。

1 **DDNS サイトでサービスに登録手続きをします。**
ここでは、例として「http://dp-21.net」（Ivy Network）に登録しています。
登録が完了すると、ユーザー登録確認メールが送られてきます。

2 **「設定画面を開く」（P.36）の手順で本製品の設定画面を表示します。**

3 **「システム設定」画面で次のように設定します。**

※画面は一例です

項　目	入力例	説　明
DDNS サービス	―	登録した DDNS サイトを選択します。
ドメイン名	core-net	DDNS サイトで登録した希望のドメイン名を設定します。入力できる文字数は 64 文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。
ユーザー名	corega	DDNS サイトで登録したユーザー名を設定します。入力できる文字数は 64 文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。
パスワード	passwordxx	DDNS サイトで登録したパスワードを設定します。パスワードは画面上では「●」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。入力できる文字数は 32 文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。

・DDNSサイトへの登録は、お客様の自己責任で行ってください。登録に関して弊社では一切責任を負いませんので、ご了承ください。
・ネットワークの環境によっては、DDNS を利用できない場合があります。
・本製品で利用できる DDNS サイトは「Dy DNS」（無料）と「Ivy Network」（有料）の 2 つのみです。その他の DDNS サイトはご利用になれません。

4 入力が終了したら［保存］をクリックします。

5 本製品が自動的に再起動します。

ルーター経由の場合は、ルーターにてバーチャルサーバーの設定を行います。ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

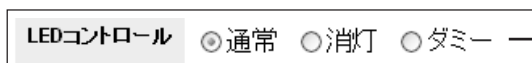
本製品を複数台接続している場合も、1 つの URL で本製品にアクセスできます。ただし、各カメラにポート番号の設定を行い、URL とポート番号を入力して本製品にアクセスしてください。詳しくは、「ポートの設定をする <システム設定>」（P.51）をご覧ください。

LED の設定をする <システム設定>

Power LEDとLink/Act LEDの設定を行います。LEDの状態で本製品の状態を把握することができます。基本的に本製品が動作している間はLEDが点灯しています。

1 「設定画面を開く」(P.36) の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

LEDコントロール	◉通常　○消灯　○ダミー

❶本製品のLEDを使用する場合は「通常」、使用しない場合は「消灯」、ダミーモードにする場合は「ダミー」をクリックしてください。

なお、LEDの表示と状態については、次のとおりです。

・「通常」の場合

種類	色	状　態
Power LED	緑色に点灯	電源が入っているとき
	緑色に点滅	ファームウェアのアップグレード中、再起動時のセルフテスト中、異常発生時のいずれか
	消灯	電源が入っていないとき
Link/Act LED	オレンジ色に点灯	待機中（LANケーブル接続時）
	オレンジ色に点滅	データ通信中（データの転送時）
	消灯	電源が入っていないとき、LANケーブルが接続されていないとき

・「消灯」の場合

種類	色	状　態
Power LED	消灯	常時
Link/Act LED	消灯	常時

・「ダミー」の場合

種類	色	状　態
Power LED	緑色に点灯	電源が入っているとき
	消灯	電源が入っていないとき
Link/Act LED	オレンジ色にランダムに点滅	常時
	消灯	電源が入っていないとき、LANケーブルが接続されていないとき

3 ［保存］をクリックします。

・「通常」から「消灯」に切り替えたときと「消灯」に設定された状態で再起動したときは、LEDが消えるまでにそれぞれ1分ほどかかります。
・再起動もしくは電源投入時には、本体内部の動作チェック（セルフテスト）のために強制的にLink/Act LEDが数秒間、点滅テスト表示を行います。

ポートの設定をする < システム設定 >

インターネット接続のときにルーターを使用して、同じネットワーク内に２台以上の本製品を使用している場合、それぞれの本製品にIPアドレスが割り振られているため、常に開かれているポート番号（80）とは別に、独自のポート番号を設定する必要があります。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

・ネットワーク環境によっては、工場出荷時の「80」のポート番号を使用できないことがあります。その際は、グローバルIPアドレスでアクセスできる別のポート番号をプロバイダーまたはネットワーク管理者から入手してください。なお、その際にはルーターのバーチャルサーバー機能を設定する必要もあります。
・同じネットワークに接続されている他のネットワーク機器で使用しているポート番号は使用しないでください。
・本製品自身が使用しているものを除いて、すでに使用されていて設定できない可能性の高いポート番号は次のとおりです。
20、21、23、25、42、67、68、69、105、110、123、161、162、546、547、5002

3 入力が終了したら［保存］をクリックします。

4 本製品が自動的に再起動します。

● IP アドレスとポート番号の設定例

本製品を３台接続している場合の IP アドレスとポート番号の設定は、次のようになります。

＜固定 IP アドレスの場合の例＞

ルーターを経由した固定グローバルIPアドレスのネットワーク環境でインターネット側から本製品にアクセスするときは、「http:// ルーターのグローバル IP アドレス:ポート番号 /」を Web ブラウザーのアドレス入力欄に入力します。

項　目	IP アドレス	ポート	パソコンからアクセスするとき
ルーター（WAN 側）	12.34.56.78		
ルーター（LAN 側）	192.168.1.1		
パソコン（LAN 内）	192.168.1.10		
1 台目の本製品	192.168.1.201	81	・インターネット側から http://12.34.56.78:81/ 【Enter】 ・LAN 内から http://192.168.1.201:81/ 【Enter】
2 台目の本製品	192.168.1.202	82	・インターネット側から http://12.34.56.78:82/ 【Enter】 ・LAN 内から http://192.168.1.202:82/ 【Enter】
3 台目の本製品	192.168.1.203	83	・インターネット側から http://12.34.56.78:83/ 【Enter】 ・LAN 内から http://192.168.1.203:83/ 【Enter】

＜ DDNS を利用した場合の例＞

ルーターを経由したグローバルIPアドレスが固定されないネットワーク環境でインターネット側から本製品にアクセスするときは、「http://DDNSで登録したURL:ポート番号/」をWebブラウザーのアドレス入力欄に入力します。（例：netcamera.server.cc を登録した場合）

項　目	IP アドレス	ポート	パソコンからアクセスするとき
ルーター（WAN 側）	ランダム		
ルーター（LAN 側）	192.168.1.1		
パソコン（LAN 内）	192.168.1.10		
1 台目の本製品	192.168.1.201	81	・インターネット側から http://netcamera.server.cc:81/ 【Enter】 ・LAN 内から http://192.168.1.201:81/ 【Enter】
2 台目の本製品	192.168.1.202	82	・インターネット側から http://netcamera.server.cc:82/ 【Enter】 ・LAN 内から http://192.168.1.202:82/ 【Enter】
3 台目の本製品	192.168.1.203	83	・インターネット側から http://netcamera.server.cc:83/ 【Enter】 ・LAN 内から http://192.168.1.203:83/ 【Enter】

表示される画像の設定をする <ビデオ設定>

画像の設定を行います。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本製品の設定画面を表示します。

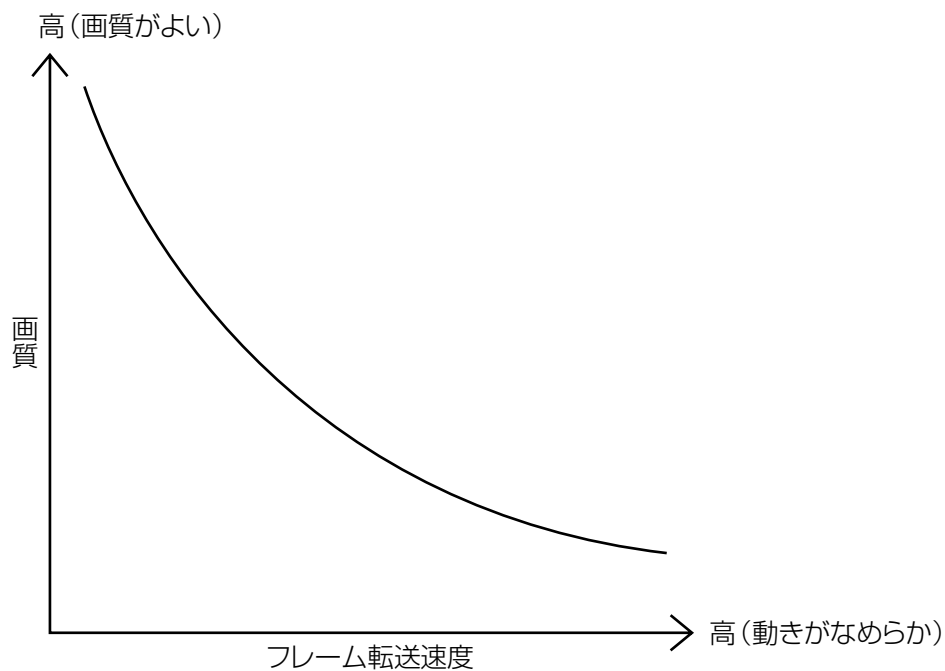
2 「ビデオ設定」画面で次のように設定します。

項　目	説　明
解像度	画像のサイズ（解像度（単位はドット数で、横×縦です））を設定します。320×240、または640×480に設定されます。工場出荷時は、320×240に設定されています。
圧縮率	画像データの圧縮率を５段階に設定できます。「非常に低い」を選ぶと画像の品質は上がりますが、ネットワークへの負荷が増えます。工場出荷時は「中」に設定されています。
フレーム転送速度	本製品から送信される画像の毎秒あたりの送信フレーム数（何回画面を書き換えることができるか）の上限を設定します。数値が大きくなるほど画像が滑らかになり、ネットワークへの負荷が増えます。工場出荷時は「Auto」に設定されています。
明るさ	画像の明るさを設定します。数値を大きくすると明るさが増します。工場出荷時は「64」に設定されています。設定範囲は、１（最少）〜 128（最大）です。
コントラスト	画像のコントラストの調整をします。数値を大きくすると最も明るい部分と暗い部分の差が大きくなります。工場出荷時は「64」に設定されています。設定範囲は、１（最少）〜 128（最大）です。
色彩	画像の色具合を設定します。数値を大きくすると青色が強くなり、小さくすると赤色が強くなります。工場出荷時は「64」に設定されています。設定範囲は、１（最少）〜 128（最大）です。
電源周波数	本製品を利用する地域の電源周波数（50Hz（東日本）、60Hz（西日本））を設定します。

実際に送信および表示される画像は、パソコンの性能やWeb ブラウザーの違い、またはネットワーク環境などに左右されます。ネットワークに比較的大きな負荷がかかっているような環境では、他のユーザーとの間に通信障害が予想されますので、小さな値に設定するようにして調整してください。

メモ

フレーム転送速度を上げると、動きは滑らかになりますが画質が荒くなります。フレーム転送速度を下げると、画質はよくなりますが動きが遅くなります。

フレーム転送速度	（最低）	（低）	（中）	（高）	（最高）
画質	（最高）	（高）	（中）	（低）	（最低）
圧縮率	（最低）	（低）	（中）	（高）	（最高）

3 ［保存］をクリックします。

カメラに接続できるユーザーを制限する <ユーザー管理>

画像を見ることができる一般ユーザーを登録します。本製品の設定を変更できるのは所有者だけです。一般ユーザーはカメラへのアクセス（画像の閲覧）、FTPへのアップロード、電子メールの送信以外の操作をすることはできません。

■本製品に接続できるユーザーを登録する

ユーザーの登録に関する設定を行います。登録できる人数は最大８人です。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「ユーザー管理」画面で次のように設定します。

項　目	入力例	説　明
ユーザー名	camera-user	登録するユーザー名を入力します。入力できる文字数は4～12文字、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。なお、最初に起動したときには、ユーザー名は設定されていません。
パスワード	Password	追加するユーザーのパスワードを入力します。パスワードは画面上では「●」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。入力できる文字数は４～８文字、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。なお、最初に起動したときには、パスワードは設定されていません。
制限	－	追加するユーザーにカメラへのアクセス（画像の閲覧）のみを行えるようにするには「ビデオへのアクセスのみ」、カメラへのアクセス（画像の閲覧）、FTPへのアップロード、電子メールへの送信を行えなえるようにするには「ビデオへのアクセス/FTPアップロード/E-mail送信可能」を設定します。

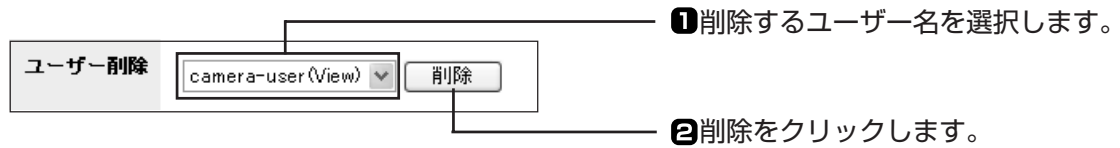
・第三者からの不正アクセスやハッキングを防止するためにも、ユーザー名、パスワードは定期的に変更してください。
・ユーザー管理を有効にし、ユーザー追加を行わない場合は、所有者以外は本製品にアクセスすることはできません。ただし、所有者のログイン名とパスワードも設定されていない場合は、ユーザー管理の有効/無効にかかわらずアクセス可能になります。

3 ［追加］をクリックすると、リストにユーザーが追加されます。

4 ［実行］をクリックします。

■本製品に接続できるユーザーを削除する

1 「設定画面を開く」(P.36) の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「ユーザー管理」画面で次のように設定します。

画像をメールで送信できるようにする（SMTP サーバーの設定）<E-mail 設定>

撮影した画像を電子メールで送れるように設定します。ネットワークが混んでいたり、Webブラウザーから画像を見られないような場合に、画像を電子メールで受け取れるようにします。なお、電子メールに添付される画像は静止画です。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「E-mail 設定」画面で次のように設定します。

項　目	入力例	説　明
メールサーバーアドレス	smtp.isp.ne.jp	メールサーバー(SMTPサーバー)のアドレスを入力します。IPアドレスまたは、ドメイン名で入力してください。
送信元アドレス（FROM）	fromname@isp.ne.jp	画像を添付した電子メールの送信元の電子メールアドレス（送り主）を設定します。
送信先アドレス（TO）	toname@isp.ne.jp	画像を添付した電子メールの受信先の電子メールアドレス（送り先）を設定します。
ユーザー名	corega	メールサーバーへアクセスするためのユーザー名を入力します
パスワード	passwordsmtp	メールサーバーへアクセスするためのパスワードを入力します

❷次の表を参考に、設定します。

項　目	入力例	説　明
画像を自動で送信する	−	画像を自動でスケジュールに基づいて送信する場合に設定します。
常時	−	画像を自動で常時送信する場合に設定します。
スケジュール	−	画像を送信するスケジュールを設定します。
曜日	−	送信する曜日を設定します。
開始時刻	00:00:00	撮影開始時刻を時分秒の単位で設定します。
終了時刻	23:59:59	撮影終了時刻を時分秒の単位で設定します。
送信間隔	300	1 フレームを何秒間隔で撮影して送るかを設定します。
画像を手動で送信する	−	撮影した画像を添付した電子メールを手動で送信する設定を行います。画像を電子メールで送信する場合、「Video」画面から送信を実行（［ON］）できます。
送信間隔	300	1 フレームを何秒間隔で撮影して送るかを設定します。

3 入力が終了したら［保存］をクリックします。

4 本製品が自動的に再起動します。

・本機能を利用する際は、「システム設定」で必ずDNSサーバーとゲートウェイを設定してください。
・SMTPサーバーによっては、電子メールへの添付ファイルの容量に制限がある場合があります。事前にプロバイダーまたはネットワーク管理者に相談してください。
・本製品のメール機能は、SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。
・E-mail設定を行うと本製品への接続完了時に、ここで設定した送信先アドレスに接続完了を通知する電子メールが送信されるようになります。

メモ

・撮影した画像は、JEPG形式（.jpg）で電子メールに添付、送信されます。
・次の内容の電子メールが送信されます。
件名：Picture from（デバイス名）yyyy/mm/dd,hh:mm:ss（yyyymmdd：年月日、hhmmss：時分秒）
本文：Camera Name（デバイス名）、Location（説明）、IP Address（IPアドレス）、Time（本製品の撮影時刻）、Event（撮影方法）
添付ファイル名：yyyy mm dd-hh mm ss-1.jpg
（yyyy：年、mm：月、dd：日、hh：時、mm：分、ss：秒）
・添付される画像の大きさは、「320×240」または「640×480」の2種類です。「表示される画像の設定をする<ビデオ設定>」（P.53）の「解像度」で設定した大きさの画像が電子メールに添付されます。
・「画像を手動で送信する」を選択すると、「Video」画面から「E-mail送信」の実行（［ON］/［OFF］）ができます（P.35）。

画像を FTP にアップロードする（FTP サーバーの設定）<アップロード>

撮影した画像を FTP（File Transfer Protcol）サーバーに登録できるように設定します。ネットワークが混んでいたり、Web ブラウザーから画像を見られないような場合に、画像を FTP サーバーに貯めておくことができます。インターネット側から本製品へ直接アクセスさせたくない場合は、FTPでのファイルの登録先を、公開用のホームページを置いてある場所にして画像を表示する設定にしておけば、本製品の画像を公開用のホームページから見ることもできます。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「アップロード」画面で次のように設定します。

❶次の表を参考に、設定します。

項　目	入力例	説　明
サーバーアドレス	ftp.isp.ne.jp	FTP サーバーのアドレスを設定します。
ポート番号	21	FTP のポート番号を設定します。工場出荷時には「21」が設定されています。
ユーザー名	corega	FTP のユーザー名を設定します。
パスワード	passwordftp	FTP のパスワードを設定します。
ディレクトリ	/user/corega/ftp	FTPサーバーに画像を登録するフォルダー（ディレクトリー）を設定します。空欄にした場合は FTP サーバーに登録されているホームディレクトリに追加されます。
パッシブモード	―	FTPの転送方式を設定します。FTPサーバーの設定に合わせて選択してください。工場出荷時はパッシブモードが「OFF」に設定されています。

❷次の表を参考に、設定します。

項　目	入力例	説　明
FTP サーバーに自動でアップロードする	−	画像を自動でFTPに登録するかを設定します。
常時	−	画像を自動でFTPに常時登録する場合に設定します。
スケジュール	−	画像を自動でスケジュールに基づいて登録する場合に設定します。
曜日	−	登録する曜日を設定します。
開始時刻	00:00:00	登録開始時刻を時分秒の単位で設定します。
終了時刻	23:59:59	登録終了時刻を時分秒の単位で設定します。
撮影頻度	−	1フレームを何秒間隔で撮影して送るか、または1秒で何フレーム送るかを選択します。
基本ファイル名	Camera	画像ファイルのファイル名を入力します。
アップロード	−	FTP に登録する際のファイル名を設定します。基本ファイル名を「Camera」とすると、次のとおりです。
上書き	−	基本ファイル名で上書きされます。拡張子は .jpg です。 例：Camera.jpg
基本ファイル名＋日付 / 時間	−	基本ファイル名に年月日時分秒を加えたファイル名となります。拡張子は .jpgです。 例：Camera20040209200015.jpg
基本ファイル名＋番号	−	基本ファイル名に連番を加えたファイル名となります。拡張子は .jpg です。 例：Camera10.jpg
FTP サーバーに手動でアップロードする	−	画像を手動で登録する設定を行います。「Video」画面から登録を実行できます。
基本ファイル名	Camera	画像ファイルのファイル名を入力します。
アップロード	−	FTP に登録する際のファイル名を設定します。基本ファイル名を「Camera」とすると、次のとおりです。
上書き	−	基本ファイル名で上書きされます。拡張子は .jpg です。 例：Camera.jpg
基本ファイル名＋日付 / 時間	−	基本ファイル名に年月日時分秒を加えたファイル名となります。拡張子は .jpgです。 例：Camera20040209200015.jpg
基本ファイル名＋番号	−	基本ファイル名に連番を加えたファイル名となります。拡張子は .jpg です。 例：Camera10.jpg

・撮影した画像は、JEPG形式（.jpgで保存されたファイル）でFTPサーバーにアップロードされます。
・登録される画像の大きさは、「320 × 240」または「640 × 480」の２種類です。「表示される画像の設定をする<ビデオ設定>」（P.53）の「解像度」で設定した大きさの画像がFTP に登録されます。
・「FTPサーバーに自動でアップロードする」または「FTPサーバーに手動でアップロードする」を選択すると、「Video」画面から「FTPアップロード」の実行（[ON] / [OFF]）ができます（P.35）。

3 ［保存］をクリックします。

カメラの情報を見る < ステータス >

本製品に関する情報（本製品のモデル名、ファームウェアバージョン、MACアドレス、IPアドレス）が確認できます。

1 「設定画面を開く」(P.36) の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「ステータス」画面では次のように表示されます。

MAC アドレスについて→「MAC アドレスについて」(P.79)

カメラを再起動する < ツール >

本製品を再起動します。設定を変更した場合には、再起動して設定内容を反映させてください。「工場出荷時の状態に戻す」や「ファームウェアのアップグレード」とは異なりますのでご注意ください。
再起動には、次の２つの方法があります。２つの方法に違いはありません。どの方法を使ってもかまいません。

■設定画面を使う

1 「設定画面を開く」(P.36) の手順で本製品の設定画面を表示します。

2 「ツール」画面で次のように設定します。

Power LED が点滅し、Link/Act LED が点灯します。しばらくして Power LED が点灯し、Link/Act LED が点滅すれば、再起動の完了です。

・再起動後も、設定した内容は保持されます。
・再起動すると、カメラ内に一時保存されていた画像はすべて消去されます。

■電源を入れ直す

1 **本製品の専用ACアダプターを電源コンセントなどから抜きます。**

Power LEDとLink/Act LEDが消灯します。

2 **しばらくしてから専用ACアダプターを電源コンセントなどに接続します。**

Power LEDが点灯し、Link/Act LEDが点滅すれば、再起動の完了です。

電源を切るときは、本製品背面のDCコネクタの方から電源コードを抜かないでください。故障の原因となる場合があります。

カメラの設定を工場出荷時の状態に戻す <ツール>

本製品を工場出荷時の状態に戻すと今まで設定していた情報がすべて消えてしまい、購入したときの設定に戻ります。ユーザー名やパスワードを忘れて、本製品にアクセスできなくなったときや、ご購入時の設定に戻して、はじめから設定したいときなどにご使用ください。なお、重要な設定をしている場合は、その設定内容を事前に書き残すなど、後ですぐに設定し直せるように準備しておいてください。「再起動」や「ファームウェアのアップグレード」とは異なりますのでご注意ください。
工場出荷時の状態に戻すには、次の2つの方法があります。2つの方法に違いはありません。どちらを使ってもかまいません。

■Resetスイッチを押す

1 **本製品の電源が入っている状態で、ボールペンなど堅くて先の細いものを使用し、背面にあるResetスイッチを3秒以上押します。**

2 **Resetスイッチを離します。**

Power LEDが点滅し、Link/Act LEDが消灯します。しばらくしてPower LEDが点灯し、Link/Act LEDが点滅すれば、工場出荷時の状態に戻ります。

■設定画面を使う

1 **「設定画面を開く」(P.36)の手順で本製品の設定画面を表示します。**

2 **「ツール」画面で次のように設定します。**

❶「初期化」の［実行］をクリックします。

Power LEDが点滅し、Link/Act LEDが消灯します。しばらくしてPower LEDが点灯し、Link/Act LEDが点滅すれば、工場出荷時の状態に戻ります。

注意

・設定が工場出荷時の状態に戻るまでに、約20秒間かかります。
・工場出荷時の状態にすると、IPアドレスは「192.168.1.245」、サブネットマスクは「255.255.255.0」に戻ります。
・工場出荷時の状態にすると、カメラ内に一時保存されていた画像はすべて消去されます。

解決のステップ

カメラを使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、この章で解決方法を探してください。

①取扱説明書や契約書を確認する。プロバイダーやネットワーク管理者に確認する

特にネットワークの接続が複雑な場合、ルーターなどの設定も十分見直す

②この章のQ&Aを確認する

＜トラブルは？＞

- ・「NC View A」でカメラが検索されない
- ・「NC View A」でカメラの登録ができない
- ・「NC View A」でカメラの画像が表示されない
- ・Webブラウザーでカメラの画像が表示されない
- ・画像に白い線が表示される
- ・画像にノイズが入る
- ・画像の焦点が合わない
- ・画像の色がよくない
- ・画像の更新が遅い
- ・Webブラウザーでカメラの設定画面が表示されない
- ・カメラと無線で通信できない
- ・カメラのPower LEDが点灯しない
- ・カメラのLink/Act LEDが点灯しない
- ・「NC View A」で録画ができない
- ・録画したファイルが見当たらない
- ・録画ファイルが再生できない
- ・カメラのIPアドレスを忘れてしまった
- ・画像をメールで送信できない
- ・画像をFTPサーバーにアップロードできない
- ・ログイン名、パスワードを忘れてしまった
- ・ファームウェアのアップグレードに失敗した

＜疑問は？＞

- ・カメラの設定を工場出荷時の状態に戻したい
- ・接続できているか確認したい（pingコマンドを使う）
- ・ファームウェアをアップグレードしたい

③コレガのホームページの情報を活用する

インターネットに接続できる環境であれば、コレガのホームページは、「Top/Information」画面からアクセスできます。「ユーザー登録」、「Q and A」、「製品情報」をご覧になれます。

④それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる

サポート窓口の連絡先については添付の『はじめにお読みください』をご覧ください。

Q&A

■「NCView A」でカメラが検索されない

● カメラの電源は入っていますか？　ルーター、ハブなどとの接続は正しくできていますか？

各ケーブルとの接続状態を確認してみてください。

● インターネット経由でカメラを検索しようとしていませんか？

「NC View A」で自動検索できるのは、LAN 内のカメラのみです。インターネット経由でカメラに接続する場合は、カメラの IP アドレスを直接入力するか、ドメイン名を入力してください。

■「NCView A」でカメラの登録ができない

● LAN 内のカメラを登録する場合

カメラのIPアドレスと設定用のパソコンのIPアドレスが同一ネットワーク上にない場合は、カメラを登録できません。
パソコンとカメラの IP アドレスを再確認してください。カメラの IP アドレスを変更する場合は、「NC View A」の［カメラ登録変更］で変更してください。

カメラの IP アドレスを変更する→「カメラの IP アドレスを変更する」（P.10）

● インターネット上のカメラを登録する場合

インターネット接続にプロキシサーバーを使用している場合は、「NCView A」にプロキシサーバーの設定が必要です。メインウィンドウの［オプション］でプロキシサーバーの設定を行ってください。

「NCView A」でプロキシサーバーの設定をする→「プロキシサーバーの設定をする<オプション>」（P.26）

パソコンまたはネットワークにファイアウォール機能が設定されている場合は、ファイアウォール機能の設定変更が必要です。本製品の画像（動画）データの送信には、ポート「80」を使用します。「80」が使用できるようファイアーウォールの設定を変更してください。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

■「NCView A」でカメラの画像が表示されない

●「Off-Line」になっていませんか？

「Off-Line」と表示されているカメラは、画像が表示されません。［接続 / 切断］をクリックして、カメラに接続してください。

● カメラを登録しましたか？

「NCView A」で画像を見るには、あらかじめ、「NCView A」にカメラの登録を行っておく必要があります。

カメラを登録する→「カメラを登録する」（P.8）

● IP アドレスの設定が間違っていませんか？

LAN 内のカメラに接続する場合は、カメラの IP アドレスとパソコンの IP アドレスが同じネットワーク上にないと、カメラに接続できません。パソコンとカメラの IP アドレスを再確認してください。

● カメラにアクセスするパソコンで、インターネット接続にプロキシサーバーを使用していませんか？

インターネットに接続する場合にプロキシサーバーを使用しているネットワークでは、インターネット経由でカメラにアクセスするときには「NCView A」にプロキシサーバーの設定が必要です。「NC View A」の［オプション］でプロキシサーバーの設定を行ってください。

「NCView A」でプロキシサーバーの設定をする→「プロキシサーバーの設定をする<オプション>」(P.26)

●パソコンまたはネットワークにファイアウォール機能が設定されていませんか？

ファイアウォール機能の設定変更が必要です。本製品の画像（動画）データの送信には、ポート「80」を使用します。「80」が使用できるようファイアーウォールの設定を変更してください。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

● 無線の設定は正しいですか？

カメラを無線LANで運用している場合は、ESSIDやWEPキーの設定が正しくできているか、確認してください。

● ドメイン名を正しく入力しましたか？

URLを指定してカメラにアクセスしている場合は、DDNSサイトで登録したドメイン名を入力する必要があります。正しく入力できているか、確認してください。
また、カメラに独自のポート番号が設定されている場合は、ポート番号の入力も必要です。
ドメイン名で接続する場合、DNSサーバーの設定も必要になります。ルーターまたはカメラにDNSサーバーの設定を正しく行っているか、確認してください。

■ Web ブラウザーでカメラの画像が表示されない

● カメラに同時に接続しているユーザーの数が多すぎませんか？またはネットワークが混んでいませんか？

お使いの設定などにより、画像がすぐに表示されない場合もあります。特にネットワークに比較的大きな負荷がかかっているような環境では、他のユーザーとの間にも通信障害が予想されますので、接続するユーザー数を制限したり、画像の品質や更新回数を減らすように調整してください。また、FTP や電子メールで画像を送る方法もあります。

・接続するユーザー数を制限する→「カメラに接続できるユーザーを制限する<ユーザー管理>」（P.55）
・画像の品質や更新回数を減らす→「表示される画像の設定をする<ビデオ設定>」（P.53）
・電子メールで画像を送る→「画像をメールで送信できるようにする（SMTPサーバーの設定）<E-mail 設定>」（P.57）
・FTP に画像を送る→「画像を FTP にアップロードする（FTP サーバーの設定）<アップロード>」（P.59）

● カメラにアクセスするパソコンのWebブラウザーの設定が、プロキシを経由していませんか？

Webブラウザーの設定がプロキシを経由している場合は、次のように設定してください。なお、パソコンのWebブラウザーの設定については、パソコンに添付されている取扱説明書かWebブラウザーのヘルプなどをご覧ください。ここでは、Internet Explorer 6.0を例に設定します。

1 Webブラウザーを起動して「メニュー」－「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。

2 「接続」タブをクリックし、「ダイヤル設定」の「ダイヤルしない」を選択します。

3 「LANの設定」をクリックします。
ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定画面が表示されます。

4 「詳細」をクリックします。
プロキシ設定画面が表示されます。

5 「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」の入力欄にカメラのIPアドレスを入力します。

6 入力が終わったら［OK］をクリックします。

● モデム⇔インターネット側への回線は正しく接続されていますか？

モデム（xDSLモデム、ケーブルモデム）やメディアコンバーターとケーブル（電話回線用モジュラーケーブル、同軸ケーブル、光ケーブル）が外れていないかを確認してください。接続については、モデムやメディアコンバーターに添付の取扱説明書をお読みください。

● プロバイダーやネットワーク管理者からの設定事項を正しく入力しましたか？

契約時の設定事項をカメラ、ルーター、パソコンに正しく入力したか確認してください。プロバイダーやネットワーク管理者からの設定事項をすべて設定画面に正しく入力しないと接続できません。パスワードは入力を間違っても画面上で確かめることができませんので、再度入力をやりなおしてみてください。大文字／小文字が区別される場合もありますので注意してください。

● カメラ、ルーター、パソコンの設定は正しいですか？

ご利用になるネットワーク環境や構成によって、カメラ、ルーター、パソコンの設定は異なります。また、ルーターなどのカメラ以外の機器については、各接続機器の取扱説明書をご覧になるか、設定内容の詳細をネットワーク管理者などに相談してください。

・カメラのネットワーク設定は正しいか？→「ネットワークの設定をする<システム設定>」（P.41）
・無線の設定は正しいか？→「無線の設定をする（CG-WLNC11MNのみ）<システム設定>」（P.46）
・インターネットから接続するための設定は正しいか？→「URLを指定して画像を見る（DDNSの設定）<システム設定>」（P.48）、「ポートの設定をする<システム設定>」（P.51）

● パソコンまたはネットワークにファイアウォール機能が設定されていませんか？

ファイアウォール機能の設定変更が必要です。本製品の画像（動画）データの送信には、ポート「80」を使用します。「80」が使用できるようファイアーウォールの設定を変更してください。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

■画像に白い線が表示される

● 設置場所の光源とカメラとの距離が近すぎませんか？

設置場所に必要以上に明るい光源（日光やハロゲン光）がある場合は、内蔵カメラのセンサーが反応しなくなってしまい、その結果、静止画に白い縦縞となって現れる場合があります。位置や方向を変えるか、光源の位置を調整してください。そのままの環境で使い続けると、内蔵カメラのセンサーが故障する場合があります。なお、必要以上に明るい光源を直接受けたことでカメラが故障した場合は保証の対象外となりますのでご注意ください。

設置条件について→『お使いの手引き Administrator編』「撮影したい場所に本製品を設置する」をご覧ください。

■画像にノイズが入る

● 被写体の環境が暗くないですか？

被写対象や設置場所を明るくしてください。設置場所については、『お使いの手引き Administrator編』「撮影したい場所に本製品を設置する」をご覧ください。

● 設置場所の蛍光灯とカメラとの距離が近すぎませんか？

電源周波数（50Hz（東日本）または60Hz（西日本））によっては、蛍光灯などの照明の影響によりフリッカー（照明のちらつき）が発生し、画面にノイズが入ったようになることがあります。蛍光灯とカメラとの距離をできるだけ離すようにしてください。また、使用する地域によって、電源周波数の設定を変更してください。

電源周波数の変更について→「表示される画像の設定をする <ビデオ設定>」（P.53）

● 無線LANに障害はないでしょうか？

無線LANに障害がある場合も、画像にノイズが入る場合があります。干渉していると思われる他の機器を外してみてください。

■画像の焦点が合わない

対象とのピント調整が合っていない可能性があります。カメラはオートフォーカス機能を持っていませんので、画像を見ながら手動でレンズを回転させ、対象とピントを合わせてください。時計回りに回すと遠い被写体に、反時計回りに回すと近くの被写体にピントが合わせられます。

● レンズやレンズカバーにゴミ、汚れ、指紋、曇りなどが付着していませんか？

レンズクリーニングペーパーなどでゴミなどを取り除いたあと、拭き取ってください。

● 被写体までの距離が近すぎませんか？

近距離（20cm未満）では焦点が合いません。被写体から20cm以上離して使用してください。

● 暗い場所や何もない場所（壁など）を撮影していませんか？

フォーカスが合わない場合があります。手動で合わせてください。設置条件については、『お使いの手引き Administrator 編』「撮影したい場所に本製品を設置する」をご覧ください。

■画像の色がよくない

● 画像のコントラストや色彩の設定を見なおしてみてください

カメラの画像のコントラストや色彩の設定については、「表示される画像の設定をする <ビデオ設定>」（P.53）をご覧ください。

● パソコンのモニターの色設定が「Hight Color（16 ビット）」未満になっていませんか？

パソコンのモニターの色設定を「Hight Color（16 ビット）」以上（「True Color（32 ビット）」など）に設定してください。設定については、パソコンやモニターに添付の取扱説明書をご覧ください。

パソコンのビデオカードやモニターによっては、多少表示される色合いが異なる場合があります。ビデオカードやモニターのカラー調整で解決できる場合もあります。設定については、パソコン、ビデオカードまたはモニターに添付の取扱説明書をご覧ください。

■画像の更新が遅い

● カメラの画像に同時に接続しているユーザーの数が多すぎませんか？またはネットワークが混んでいませんか？

フレーム転送速度の設定などにより、画像がすぐに表示されない場合もあります。特にネットワークに比較的大きな負荷がかかっているような環境では、他のユーザーとの間にも通信障害が予想されますので、接続するユーザー数を制限したり、画像の品質や更新回数を減らすように調整してください。また、FTP や電子メールで画像を送る方法もあります。

・接続するユーザー数を制限する→「カメラに接続できるユーザーを制限する<ユーザー管理>」（P.55）
・画像の品質や更新回数を減らす→「表示される画像の設定をする<ビデオ設定>」（P.53）
・電子メールで画像を送る→「画像をメールで送信できるようにする（SMTPサーバーの設定）< E-mail 設定>」（P.57）
・FTP に画像を送る→「画像を FTP にアップロードする（FTP サーバーの設定）<アップロード>」（P.59）

● 複数のカメラに同時に接続していませんか？

1 台のパソコンから複数設置してあるカメラの画像を見る場合は、画像の更新が遅くなることがあります。接続するユーザー数や画像の品質などの設定を見直してみてください。それでも更新速度の低下が気になる場合は、ネットワーク構成の見直しや高速化をご検討ください。詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

● パソコンのスペックやネットワークの通信速度は十分ですか？

オペレーティングシステムやWebブラウザーが古かったり、メモリーやハードディスクの容量が十分搭載されていなかったり、ネットワークの通信速度が十分でなかったりする場合は、画像がスローモーションに見えたり、フレーム落ちが発生したりする場合があります。これらは故障ではありません。

対応パソコンの条件について→『お使いの手引き Administrator 編』

● 通信状態が良くない場所に設置していませんか？

無線LANで使用している場合、設置場所によっては通信の状態が良くならない場合があります。設置場所を変更するか、LANケーブルなどの有線に切り替えるか、画像の品質や更新回数を減らすように調整してください。

・設置場所の変更について→『お使いの手引き Administrator 編』「撮影したい場所に本製品を設置する」
・画像の品質や更新回数を減らす→「表示される画像の設定をする<ビデオ設定>」（P.53）

■ Web ブラウザーでカメラの設定画面が表示されない

● 電源は入っていますか？

各接続機器の電源ランプがついているか、またはACアダプターなどが電源コンセントから外れていないか確認してください。

● ケーブル（モデム⇔ルーター⇔パソコン、カメラ）は正しく接続されていますか？

ルーターとカメラがLANケーブルで正しく接続されているか確認してください。カメラとルーターが正常に接続されている場合は、カメラに電源が入っているとルーターの前面にある各LAN ポートのLink/Act LED が点灯します。また、LAN ポートに正しくケーブルが接続されているかも再度確認しましょう。

● パソコンのネットワークアダプターは正しく動作していますか？

パソコンのネットワークアダプターのドライバの設定は正しいか確認してください。また、パソコンのネットワークアダプターが正常に動作していることを再度確認してください。ネットワークアダプターの設定については、パソコンやLAN カードに添付の取扱説明書をご覧ください。

● カメラの IP アドレスを変更していませんか？

Web ブラウザーのアドレス入力欄に新しい IP アドレスを入力してください。

● カメラにアクセスするパソコンのWebブラウザーの設定が、プロキシを経由していませんか？

Webブラウザーの設定がプロキシを経由している場合は次のように設定してください。なお、パソコンのWebブラウザーの設定については、パソコンに添付されている取扱説明書やWebブラウザーのヘルプなどをご覧ください。ここでは、Internet Explorer 6.0 を例に説明します。

1 **Web ブラウザーを起動して「メニュー」－「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。**

2 **「接続」タブをクリックし、「ダイヤル設定」の「ダイヤルしない」を選択します。**

3 **「LAN の設定」をクリックします。**
ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定画面が表示されます。

4 **「詳細」をクリックします。**
プロキシ設定画面が表示されます。

5 **「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」の入力欄にカメラの IP アドレスを入力します。**

6 **入力が終わったら [OK] をクリックします。**

● Web ブラウザーのキャッシュ（一時ファイル）を削除してみてください

1 **Web ブラウザーを起動して「メニュー」－「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。**

2 **「全般」タブをクリックし、「インターネット一時ファイル」の [ファイルの削除] をクリックします。**

3 **[OK] をクリックします。**

● 複数の人が所有者として接続しようとしていませんか？

1 台のカメラに所有者として接続できる人数は 1 人に限られます。

■カメラと無線で通信できない

● 無線LANの設定は正しくできていますか？

ESSID、WEPキー、無線チャンネルは無線に接続するすべての機器で共通である必要があります。お使いのパソコンや無線LANアクセスポイントの設定がカメラと同じになっているか確認してください。

ESSID、WEPキー、無線チャンネルについて→「無線の設定をする（CG-WLNC11MNのみ）<システム設定>」（P.46）

● 設置場所に問題はないですか？

設置場所を変更したり、障害物を除いたりしてみてください。それでも通信できない場合は、LANケーブルを使って有線で接続してください。

設置場所について→『お使いの手引き Administrator編』「撮影したい場所に本製品を設置する」

■カメラのPower LEDが点灯しない

● カメラと専用ACアダプターの接続を再度確認してください

専用ACアダプターが電源コンセントから外れていないか、DCアダプタがDC電源コネクタのジャックにしっかり入っているか、または専用ACアダプタが使われているかも確認してください。

● Power LEDの表示を消灯に設定していませんか？

Power LEDの表示を変更するには、「LEDの設定をする<システム設定>」（P.50）をご覧ください。

● 上記の見なおしを行ってもPower LEDが表示されない

Resetスイッチを押したり、電源を入れなおしたりして再起動してください。それでも直らない場合は故障していることが考えられます。お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

再起動について→「カメラを再起動する<ツール>」（P.62）

■カメラのLink/Act LEDが点灯しない

● LANケーブルがルーター、ハブ、カメラに正しく接続されていますか？

カメラとの接続を再度確認してください。また、LANケーブルやハブ/スイッチングハブの問題も考えられますので、ping（packet internet groper）コマンドなどを利用して接続状況を確認したり、ネットワーク管理者にご相談ください。

pingコマンドについて→「接続できているか確認したい（pingコマンドを使う）」（P.77）

●無線LANの場合、正しく設定されていますか？

「カメラと無線で通信できない」（P.73）をご覧ください。

●Link/Act LEDの表示を消灯に設定していませんか？

Link/Act LEDの表示を変更するには、「LEDの設定をする<システム設定>」（P.50）をご覧ください。

●上記の見なおしを行ってもLink/Act LEDが表示されない

Resetスイッチを押したり、電源を入れなおしたりして再起動してください。それでも直らない場合は故障していることが考えられます。お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

再起動について→「カメラを再起動する<ツール>」（P.62）

■「NCView A」で録画ができない

●録画の設定は正しいですか？

スケジュールの設定、録画ファイルの保存場所の設定などを確認してください。
モーション録画を行っている場合は、動作感知レベルを上げてみてください。

●録画中に画像スキャンを行っていませんでしたか？

画像スキャンを行っていると録画ができません。

●録画中に画像ウィンドウを閉じませんでしたか？

録画中に画像ウィンドウを閉じると録画ができません。

■録画したファイルが見当たらない

●録画ファイルの保存容量を超えていませんか？

「NCView A」の［オプション］－［リサイクル］で設定した録画ファイルの保存容量を超えた場合は、古いものから順に録画ファイルが削除されます。

■録画ファイルが再生できない

●再生用のアプリケーションはインストールされていますか？

録画ファイルを再生するには、Windows Media PlayerなどのMPEG4の動画を再生できるアプリケーションが必要です。あらかじめインストールしておいてください。

■カメラのIPアドレスを忘れてしまった

「NCView A」でカメラのIPアドレスを検索してみてください。また、ルーターなどから接続機器の状態を表示できる場合、そちらから確認してください。

「NCView A」でのIPアドレスの検索について→「カメラを登録する」（P.8）

■画像をメールで送信できない

● メールサーバーを正しく設定していますか？

「NCView A」で送信する場合は、［カメラ設定］－［モーション設定］でメールサーバーの設定を確認してください。詳しくは、「カメラが被写体の動きを感知したときの設定をする＜モーション設定＞」（P.27）をご覧ください。
Webブラウザーで設定する場合は、「画像をメールで送信できるようにする（SMTPサーバーの設定）<E-mail設定>」（P.57）をご覧ください。

● メールサーバーの容量がいっぱいではないですか？

メールサーバーに蓄積されている不要な電子メールを削除してください。

● メールの添付ファイルの許容サイズを超えていませんか？

電子メールの添付ファイルの許容サイズについては、プロバイダーやネットワーク管理者にご相談ください。添付ファイルのサイズを変更するには、「表示される画像の設定をする＜ビデオ設定＞」（P.53）をご覧ください。

● DNSサーバーの設定をしましたか？

カメラからメールを送信するには、DNSサーバーとゲートウェイの設定が必要です。DNSサーバーとゲートウェイの設定を確認してください。

DNSサーバーとゲートウェイの設定をする→「ネットワークの設定をする＜システム設定＞」（P.41）

■画像をFTPサーバーにアップロードできない

●FTPサーバーを正しく設定していますか？

FTPの通信モードには、「パッシブモード」と「アクティブモード」の2種類があり、FTPサーバーとカメラの通信モードの設定が異なっているときなど､アップロードできなかったり､タイムアウトエラーになったりする場合があります。

公開用のホームページでカメラの画像を見れるように設定したが、表示されない場合は、アップロード方法を「上書き」にしていないことが考えられます。ファイル名に日時、時間、番号を付与すると、表示される画像のファイル名を固定することができませんので、同じファイル名に上書きする設定をカメラと公開用のホームページのHTML文に行ってください。

FTPサーバーの設定について→「画像をFTPにアップロードする（FTPサーバーの設定）<アップロード>」（P.59）

●FTPサーバーの容量がいっぱいではないですか？

蓄積されている不要なファイルを削除してください。

■ログイン名、パスワードを忘れてしまった

所有者のログイン名、パスワードを忘れてしまった場合はカメラの設定を変更することができません。いったん設定を工場出荷時の状態に戻してログイン名､パスワードをクリアしてから､再度ログイン名､パスワードを設定してください。ただし、設定を工場出荷時の状態に戻した場合は、今までのすべての設定内容が消えてしまいますので、再度設定しなおしてください。

工場出荷時の状態に戻すには→「カメラの設定を工場出荷時の状態に戻す<ツール>」（P.64）

■ファームウェアのアップグレードに失敗した

電源の切断、ネットワーク障害、またその他の理由でファームウェアのアップグレードに失敗し、カメラに接続できない､または設定画面が表示されない場合は､いったん設定を工場出荷時の状態に戻し､接続できるように再設定を行ってから､再度ファームウェアのアップグレードを行ってください｡なお､設定を工場出荷時の状態に戻した場合は、今までのすべての設定内容が消えてしまいますので、ご注意ください。

工場出荷時の状態に戻すには→「カメラの設定を工場出荷時の状態に戻す<ツール>」（P.64）

■カメラの設定を工場出荷時の状態に戻したい

「カメラの設定を工場出荷時の状態に戻す<ツール>」（P.64）をご覧ください。

■接続できているか確認したい（ping コマンドを使う）

カメラの IP アドレスを確認した後、次の手順にしたがってください。

カメラの IP アドレスは、次のような方法で確認できます。
・「NCView A」で検索してみる
・接続しているルーターなどで機器の接続状態を表示する機能を使う(IPアドレスをDHCPで設定している場合)
・カメラから送信された電子メールで確認する(E-mail 設定を有効にしている場合)

1 **「スタート」－「プログラム」（Windows XPの場合は「すべてのプログラム」）－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします。**

2 **キーボードから次のように入力して、【Enter】を押します。**

C:¥>ping xxx.xxx.xxx.xxx
└カメラの IP アドレスを入力します。

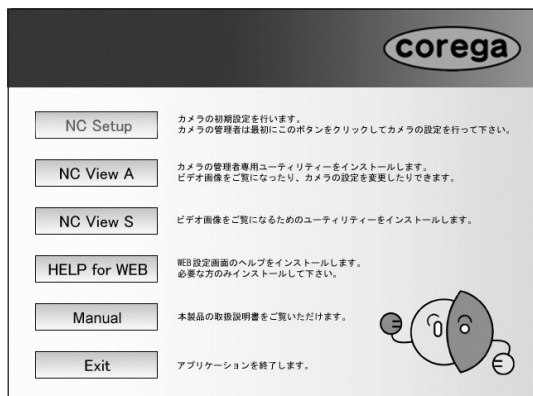
応答結果によって、次の原因が考えられますので、対処方法にしたがってください。

ping の応答内容	原因と対処方法
Reply from xxx.xxx.xxx.xxx: bytes=32 times=xms TTL=64	IP アドレスがカメラに割り当てられています。
Destination host unreachable	カメラが利用可能なサブネット内にありません。新しいIPアドレスに変更してください。
Request timed out	IPアドレスがカメラに割り当てられていません。または、未使用の IP アドレスが割り当てられています。

■ファームウェアをアップグレードしたい

「ファームウェアを更新する＜ファーム更新＞」（P.30）をご覧ください。

ユーティリティディスクについて

本製品に添付の『ユーティリティディスク』を、パソコンのCD-ROMドライブにセットすると、
次のような画面が表示されます。

● NCSetup

本製品の基本設定を行うソフトウェアです。所有者のパソコンにインストールしてください。詳しくは、『お使いの手引き Administrator編』を参照してください。

● NCView A

本製品の画像を見たり設定変更をするための、所有者のパソコンにインストールしてください。
詳しくは、『お使いの手引き Administrator編』と『詳細設定ガイド』（本書）を参照してください。

● NCView S

所有者以外の一般ユーザーが本製品の画像を見るためのソフトウェアです。各ユーザーに配布してインストールしてもらってください。なお、「NCView S」はコレガのホームページからダウンロードすることもできます。

● HELP for WEB

本製品に内蔵されている設定画面のヘルプです。必要に応じてインストールしてください。

● Manual

『詳細設定ガイド』（PDFマニュアル・本書）を参照できます。
※ Acrobat Readerが必要です。

MAC アドレスについて

ご契約されているプロバイダーやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、CATV/ADSL モデムに直接接続するネットワーク機器（本製品も含むパソコンなど）の MAC アドレスをプロバイダーに対して事前申請してください。
本製品の MAC アドレスは本体背面に記入されています。添付の『はじめにお読みください』を参照して確認してください。

索　引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Yahoo!とYahoo!のロゴマークは、米国ヤフーの登録商標または商標であり、ヤフー株式会社はこれらに関する権利を保有しています。
フレッツは、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2004 年２月　初版
2004 年８月　第二版